

目 次

決算に係る主要な施策の成果

一	般	会	計									
	議	会	費	1							
	総	務	費	2							
	民	生	費	18							
	衛	生	費	34							
	労	働	費	45							
	農	林	水	産	業	費	47				
	商	工	費	56							
	観	光	費	58							
	土	木	費	62							
	消	防	費	78							
	教	育	費	81							
	災	害	復	旧	費	101					
	公	債	費	102							
	国	民	健	康	保	険	特	別	会	計	103
	老	人	保	健	医	療	特	別	会	計	106
	介	護	保	険	特	別	会	計	107		
	土	地	取	得	特	別	会	計	111		

主要な施策の成果

【一般会計】

(款) 1 . 議会費 (項) 1 . 議会費 (目) 1 . 議会費

(単位 千円)

予算現額 369,049 千円
 決算額 363,499 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				363,499

議会事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 政務調査費	9,072	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	133
2 . 議会広報経費	9,357	「いせ市議会だより」発行 市議会活動について市民に広報するため、「いせ市議会だより」を発行、各戸配付した。市議会定例会閉会日の翌々月1日に発行した。 年間発行 4回 市議会放映 市議会活動について市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をCATVで録画放映した。会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放映。 本会議放映 1日2回 延べ23日 予算・決算特別委員会放映 1日2回 延べ9日 会議録検索システムインターネット配信 会議録をインターネットを通じて配信し、情報公開の充実を図った。	133

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 1 . 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 2,213,756 千円
 決算額 2,194,904 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,072	8,495		15,930	2,112,407

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 電子入札システム導入経費	64,957	電子入札システムの構築 入札制度のより一層の透明化・公平化を図るとともに、入札参加者の利便性の向上及び職員の事務処理の効率化・迅速化を図るため、平成20年度からの本格稼働に向け、電子入札システムを構築した。	135

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 行財政改革推進事業	114	平成18年度に策定した伊勢市行財政改革大綱実施計画の進行管理を行い、行財政改革推進に取り組んだ。	135

地域内分権推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 地域内分権推進経費	379	ふるさと未来づくり(地域内分権)を推進するため、研修会や講演会を開催するなど啓発を行った。また、全小学校区24箇所において地域住民と市長との意見交換会を開催し、理解と協力を求めるとともに意見の収集に努めた。	135

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 4 . 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 2,445 千円
 決算額 2,332 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			227	2,105

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 職員研修事業	2,332	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 一般研修(人材育成カレッジ除く) 研修数17回 受講者数 826名 一般研修(人材育成カレッジ) 研修数81回 受講者数 1,438名 派遣研修 研修数45回 受講者数 83名 (2) 研修評価(受講者自身による評価) 業務向上度 研修全体 54.3% 一般研修 51.5% 派遣研修 91.2% 意識向上度 研修全体 53.9% 一般研修 51.1% 派遣研修 91.2%	137

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 6 . 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 43,507 千円
 決算額 41,790 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				41,790

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 広報いせ発行事業	16,973	「広報いせ」(毎月1日発行)と「伊勢市おしらせ版」(毎月15日発行)を定期的に発行し、市政の方針や事業計画の概要、市の行事予定等を広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	139
2 . CATV広報いせ 放送事業	16,041	地域に根ざした行政情報番組「伊勢市テレビ広報『みてきて伊勢』」(約30分)を制作し放送した。 行政情報だけでなく、市内の文化資産などを紹介する「伊勢の文化探訪 ええとこ知っとこ」、市民活動センターやセンター登録団体からの情報をお知らせする「市民活動ニュース」や、市民が参加した行事やできごとを伝える「まちの話題」を放送した。 また、特別番組として、「まちづくり市民会議設立総会」の様態を放送した。	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. ケーブルテレビ加入促進事業補助金	4,280	ケーブルテレビの加入促進を目的に、新たにケーブルテレビに加入する市民に、ケーブルテレビ加入促進補助金を交付した。 交付金額 宅内工事費 4,280,000円(個人 5,000円×856件)	139
4. ホームページ広告事業	2,149	新たな財源の確保を目的に平成20年4月に開始するホームページ広告への対応や、ホームページ研究会で検討したトップページのリニューアルなどを実施するため、システム改修を行った。	139
5. 各種相談事業	2,284	市民からの多様な相談に対応するため、法律・行政・交通事故・多重債務などの市民相談を実施した。 法律相談については、毎週月曜日に実施し、利用者は356人(1日平均6.8人)であった。	139

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 333,967 千円
決算額 330,547 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,249	16,215			297,083

電算システム課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住民情報システム管理経費	233,483	住民基本台帳、税、国保、及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムの賃貸借、保守管理、及び各業務に係る計算処理や帳票出力処理等の業務を委託し、事務の迅速化と効率化を図った。	139
2. 行政情報システム管理経費	69,334	全庁で利用する財務会計・文書総合管理・グループウェア等のシステムの賃貸借及び保守管理を行い、職員間の情報共有及び事務効率の向上を図った。	139
3. ITセキュリティ対策事業	16,674	システムの脆弱性に対するセキュリティ向上のため、ウィルス対策ソフトを更新し、スパムメール対策用の専用装置を設置した。また、サポートを終了したOSが使用されていた庁内クライアントパソコンの更新を行った。	139

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 9 . 企画費

(単位 千円)

予算現額 12,335 千円
 決算額 8,009 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,009

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 総合計画策定事業 経費	5,858	<p>「みんなのまちの計画(総合計画)」の策定 伊勢市まちづくり市民会議において、伊勢市を構成する 多様な主体の共通の目標とする「みんなのまちの計画」を 策定した。</p> <p>市民会議 分科会の開催 分野別に分科会を設置し、検討を行った。 自治と行政のしくみ(開催23回:延べ参加者291人) 人権・教育・文化(開催16回:延べ参加者181人) 環境(開催14回:延べ参加者163人) 生活・健康・福祉(開催15回:延べ参加者204人) 防災・防犯(開催12回:延べ参加者158人) 産業(開催11回:延べ参加者116人)</p> <p>「みんなのまちの計画」文章案についての意見募集 公共施設、スーパーマーケットなどに概要版及び意見募 集箱を設置し、意見募集を行った。 期 間:平成19年8月1日~平成19年8月24日 提出数:11件</p> <p>「みんなのまちの計画」策定のためのアンケート 計画に定める指標の現状の値を把握するため、市民を対 象としたアンケート調査を行った。 期 間:平成19年10月29日~平成19年11月20日 対象者:市内在住の15歳以上の方から無作為抽出 4,000名(1,000名×4種類) 調査票: 「生活・健康・福祉」 「防災・防犯+交流都市基盤」 「人権・教育・文化+環境」 「自治と行政のしくみ+産業」 回収率:40.1%(回収数 1,604通)</p>	139
2 . 宮川流域連携事業 負担金	700	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌「RiverVoice宮川」の発行 (流域市町全戸配布) ・宮川流域子ども川サミットの開催 ・宮川流域いっせいチェックの実施 ・流域案内人養成講座の開催 	141

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 10 . 市史編さん事業推進費

(単位 千円)

予算現額 40,630 千円
 決算額 29,934 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				29,934

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1 . 市史編さん事業	29,934	各専門部会の編集方針や調査計画に基づき、委員等により史料調査、民俗聴き取り調査等を行い、市史編さんに向けての作業を推進した。	141

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 11 . 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 1,836 千円
 決算額 1,717 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	304			1,413

市民参画交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1 . 情報紙発行事業	592	男女共同参画について情報の伝達と女性の諸問題に関して広く市民に啓発するため、公募市民5人の企画編集による情報紙を9月と3月の2回、市内各戸に配布した。	141
2 . 男女共同参画推進都市事業	1,100	伊勢市男女共同参画都市宣言の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現をめざした取組を行った。なお、企画運営については、公募市民10人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」と協働で行った。 (1) パートナーの日の啓発事業 開催日 平成19年7月26日、8月1日 場所 御園町ショッピングセンター、外宮ゆかたまつり会場 内容 啓発用ティッシュの配布 開催日 平成19年8月25日 場所 ハートプラザみその 多目的ホール 内容 村尾信尚講演会&トークライブ 入場者数 300人 (2) 市民ワークショップの開催 開催日 平成19年11月21日、11月28日、12月6日 場所 一色町公民館、徳川山公民館、二見町光の街コミュニティセンター 参加者数 延べ66人 (3) 男の料理教室 開催日 平成19年6月30日、12月2日 場所 ハートプラザみその 栄養指導室 参加者数 延べ32人 (4) 「明日から役立つ生活講座」の開催 開催日 平成19年10月6日 場所 伊勢市役所4-5会議室 参加者数 27人 (5) 山田亮講演会&人形劇・工作 開催日 平成20年3月22日 場所 ハートプラザみその 保健会議室・教養娯楽室 参加者数 53人	141

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 男女共同参画推進 一般経費	25	男女共同参画に関する会議や研修会に参加し、最新事例等の情報交換を図った。	141

(款)2. 総務費 (項)1. 総務管理費 (目)16. 基金管理費

(単位 千円)

予算現額 3,178,861 千円
決算額 3,178,729 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	675	2,907,000	100,612	170,442

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁												
1. 地域振興基金	3,060,000	<p>新市「伊勢市」の一体感の醸成に資する事業に要する経費等に充てることを目的にH19.1に設置した地域振興基金について、H18に引き続き30億6千万円の積立を行い、33億6千万円の基金造成を行った。</p> <p>・合併特例債を財源とした基金造成限度額 33億6千万円</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>積立額</td> <td>起債額</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>3億 円</td> <td>2億8500万円</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>30億6000万円</td> <td>29億 700万円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33億6000万円</td> <td>31億9200万円</td> </tr> </table>		積立額	起債額	平成18年度	3億 円	2億8500万円	平成19年度	30億6000万円	29億 700万円	計	33億6000万円	31億9200万円	145
	積立額	起債額													
平成18年度	3億 円	2億8500万円													
平成19年度	30億6000万円	29億 700万円													
計	33億6000万円	31億9200万円													
2. ふるさと創生基金	50,000	<p>今一色地域振興のために寄附をうけた、寄附金を原資として積み立てを行った。</p> <p>平成20年度の今一色地区コミュニティセンター新築事業に財源充当を予定している。</p>	145												

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 18 . 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 237,258 千円
 決算額 222,307 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,565		1,176	205,566

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 庁舎等整備経費	32,508	(1) 伊勢市戦災復興記念会館解体工事 施設が老朽化しているため、このまま使用を続けるには補強工事等を含めた設備工事が必要となる。原状のままでは有効利用することが困難なため、解体工事を実施した。 (2) 電算室改修工事 電子入札システム等が導入されるため、電算システム課サーバー室を増室すると共に、空調機器の整備、サーバー用電源の増設工事を実施した。また、サーバー室への入室については、セキュリティを強化するため、静脈認証装置の設置工事を実施した。 (3) 東庁舎1階身体障がい者用トイレ改修工事 東庁舎1階身体障がい者用トイレを、人工肛門・人工膀胱を持った身体障がい者及び乳幼児連れの来庁者が利用できる多目的トイレに改修工事を実施した。 (4) 戦災復興記念会館跡駐車場整備工事 福祉健康センター駐車場が満車状態になることが多いため、同センター公用車駐車場として舗装、区画整備を実施した。 (5) 本庁舎侵入警戒監視システム設置工事 執務時間外の警備員による巡視時間外において、庁舎内の異状を早期発見し、事故の発生を未然に防止するためシステムの設置を実施した。	145

合併調整室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 庁舎等整備経費	28,436	施設改修工事 (1) 早修幼稚園改修工事 市史編さん係の移転に伴い、早修幼稚園の改修を行った。 (2) 二見総合支所改修工事 上下水道部の移転に伴い、二見総合支所3階及び二見総合支所2階の改修工事を行った。 (3) 御園総合支所改修工事 産業部の移転に伴い、御園総合支所の1階の一部改修を行った。 (4) 伊勢志摩観光コンベンション機構電話設備移転工事 伊勢志摩観光コンベンション機構の二見生涯学習センターへの移転に伴い電話設備の移設工事を行った。	145

用 地 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市有地調査経費	8,356	市有地一筆毎の所在、利用状況等を掌握するため、また、財産台帳(土地台帳)の整備を行うための基礎資料を作成するため、現地調査を行った。 (概要) 市有地調査業務 西豊浜町、東豊浜町、磯町、櫻原町ほか 調査対象筆数 1,364筆 調査対象面積 41.09ha	145

御園総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	1,155	(1) 御園総合支所防犯カメラ設置工事 庁舎の出入口3箇所にカメラを設置し防犯・盗難防止等の警備体制の強化を図った。 (概要) 天井直付ドーム型カメラ 3台 同上用電源、レコーダー、モニター、AVラック設置 1組	145

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 138,980 千円
決算額 138,174 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	750		55,100	82,324

市民参画交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民活動促進事業	16,110	いせ市民活動センターを指定管理者制度の導入により、特定非営利活動法人いせコンビニネットに管理運営を委託している。 【指定管理委託料】 第1期 平成16年7月1日～平成17年3月31日 委託契約料 7,828千円 第2期 平成17年4月1日～平成21年3月31日 委託契約料 48,202千円 うち 平成19年度 委託契約料 11,998千円	147
2. コミュニティ助成事業補助金	55,100	(財) 自治総合センターからの助成金を財源とし、コミュニティ組織である自治会に補助金を交付した。 交付決定団体は27自治会(当初分27自治会)	147
3. 元気なまちづくり協働事業補助金	6,944	市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。 申請・交付決定団体は、118自治会	147
4. 活性化活動事業補助金	1,576	市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が行う、元気で活気溢れる地域づくりを支援した。 申請団体数21団体、交付決定団体数16団体	149

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 21 . 自治区振興費

(単位 千円)

予算現額 136,167 千円
 決算額 135,678 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				135,678

市民参画交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 地区連絡員事業	99,408	市行政における住民との相互連絡等の特定事務を行った。 (1) 市の広報紙等の配付(月1回) (2) おしらせ版等の配布(月1回) (3) その他市長が特に必要と認める職務 平成19年3月31日現在の世帯数で報酬額を算定 最多世帯数 一之木地区 1,332世帯 最少世帯数 明野第六地区 9世帯 平均世帯数 301世帯	149
2 . 区長謝礼事業	7,120	市内171自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。	149
3 . 振興助成金事業	26,687	地域における自治活動を支援・推進するため市内171自治会に助成金を交付した。	149

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 自治区振興事業	1,034	自治会が地域社会の活性化をめざし自主的に取り組む活動を支援するため、集会所施設の備品購入、電気使用料に対して補助を行った。 ・備品購入 1件 210千円 ・電気使用料(1/2補助) 25件 824千円	149

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 22 . 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 6,924 千円
 決算額 6,730 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,998	3,732

市民参画交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 国際交流推進事業	778	伊勢市国際交流協会を通じ、国際交流の趣旨普及、情報提供、講演会・交流会の開催、ボランティア活動の推進に努めた。また他団体とも協力し、国際交流のまちづくりを推進した。	149
2 . 豪州中学生交流事業	5,952	伊勢市在住の中学3年生13人をオーストラリア・ゴールドコースト市へ派遣し、ホームステイや現地学校での語学研修・交流授業等を体験することで、外国の生活や文化の違い等を学び、国際的な視野を広げた。	149

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 23 . コミュニティセンター費

(単位 千円)

予算現額 95,338 千円
 決算額 70,578 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		3,600	61,116	5,862

市民参画交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 大湊地区コミュニティセンター新築事業	60,638	地域のコミュニティ活動や生涯学習の場として活用でき、地域から要望の強かった津波に対する避難施設としての機能を兼ね備えた大湊地区コミュニティセンターの整備を行った。	151
2 . 四郷地区コミュニティセンター新築事業	3,844	四郷地区コミュニティセンター等複合施設建築工事に伴う地質調査業務委託及び、設計業務委託を行った。	151

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 25 . 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 36,400 千円
 決算額 34,127 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				34,127

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 防犯啓発事業	3,543	<p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、地域安全活動を推進した。</p> <p>地域安全講習会の開催 各自治会・老人会を対象に地域安全講習会を精力的に開催して、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。平成19年度の講習会開催状況は、次のとおりである。</p> <p>平成19年度 12回 443名参加 全国地域安全運動期間中の啓発活動</p> <p>・地域安全展の開催 伊勢おおまつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設けて、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。</p> <p>共催 伊勢度会地区生活安全協会 伊勢市防犯推進協議会</p> <p>日時 平成19年10月14日(日)</p> <p>内容 ・ 似顔絵 ・ 白バイと記念撮影 ・ 「いかのおすし」チラシと子ども用グッズのセットの配布 ・ 防犯機器等の展示 ・ その他啓発用品の配布</p>	151

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 防犯灯設置等補助金	20,369	夜間の犯罪を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が実施する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。 ・防犯灯新設 63地区(156箇所) ・防犯灯修繕 126地区 ・防犯灯電気代 147地区	153

(款)2. 総務費 (項)1. 総務管理費 (目)26. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 153,818 千円
決算額 134,341 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
31,360	58,715			44,266

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全啓発事業	3,200	(1) 伊勢市交通安全都市推進協議会により、児童をはじめとする市民の交通安全意識の高揚を図った。 伊勢市児童交通安全図画ポスター展の協力 夜光反射材等の啓発物品の購入配布 (2) 伊勢・度会地区交通安全対策協議会により、広域的な見地から交通事故のない社会づくりを図った。 交通安全教室の開催 シルバー・サポート隊活動	153
2. 放置自転車対策事業	2,023	駅周辺の自転車等の整理撤去を行い、美観の確保及び駐輪場利用者の利便性の確保を図った。	153
3. 交通安全活動推進補助金	1,500	交通安全活動推進団体への補助金交付により、各団体の活動の充実を図り、交通事故のない地域社会の実現に寄与した。	153
4. コミュニティバス運行事業	90,245	公共交通サービスの地域格差の是正や、交通弱者への交通手段の提供など、公共交通サービスの充実を図るため、公共交通の不便な地域を中心に9つの路線(ルート)でコミュニティバスを運行した。	153
5. 路線バス運行維持事業	12,267	市民の身近な交通手段である路線バスを廃止させない様、運行業者の損失分を市が負担することにより、路線バスの運行を維持した。	153
6. 交通システム構築事業	4,620	伊勢市の交通現況を抜本的に見直し、交通のあり方や課題を整理し、生活者の利便性向上や来訪者の交通アクセスの向上など人々を迎え住民にとってもやさしい交通システムの構築に向けた対応方策の検討を行った。	153

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 伊勢地域観光交通 対策推進事業	5,000	平成17年8月に発足した「伊勢地域観光交通対策協議会」で、伊勢地域周辺における交通渋滞を解消するための検討会を開催し、観光交通対策を行った。 (1)パーク&バスライド サンアリーナ臨時駐車場～外宮・内宮間にシャトルバスを運行させ、正月時期における外宮・内宮周辺の交通渋滞の解消・緩和を図った。 (2)初参り交通対策 外宮・内宮・二見周辺の初参り交通対策として、来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 (3)ゴールデンウィーク交通対策 ゴールデンウィーク期間中の内宮周辺交通対策として、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。 (4)その他 土日祝日の内宮周辺交通渋滞対策として、宇治浦田交差点に警備員を配置し、車両誘導を行った。 また、3連休等の混雑期には、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。	153
8. 三重県交通災害共 済事業	15,434	三重県交通災害共済条例により交通事故による災害を受けた者を救済するため、三重県からの委任事務として、加入及び見舞金給付に関する事務を行った。 (1)加入者数 37,945人 (2)見舞金給付件数 205件 (3)見舞金給付額 11,070千円	153

(款)2. 総務費 (項)2. 地域振興費 (目)1. 振興開発費

(単位 千円)

予算現額 177,315 千円
決算額 78,991 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		72,500		6,491

企業誘致課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 企業立地推進事業	699	産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、情報収集などを実施した。	155
2. 工場等誘致奨励事 業	806	伊勢市工場等誘致奨励条例に基づき、奨励金を交付した。 奨励金実績 806,300円(1件)	155
3. まつり博跡地企業 誘致基盤整備事業	77,373	地域の活性化を目的とし、「サン・サポート・スクエア伊勢」を、より魅力のある企業誘致用地とするため、基盤整備事業を実施した。	155

(款) 2 . 総務費 (項) 2 . 地域振興費 (目) 2 . 朝熊山麓開発事業費

(単位 千円)

予算現額 39,793 千円
 決算額 39,077 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			472	38,605

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 施設整備事業	4,999	朝熊山麓公園の利用者に快適なスポーツ及びレクリエーションの場を提供するために、多目的芝生広場の排水施設の整備を行い、公園設備の充実を進めた。また、冬桜の植栽計画に基づき植栽整備を行った。 (概要) ・多目的芝生広場排水施設布設工事 排水管(100)113m 集水管(28)553m ・花木植栽整備工事(冬桜75本植栽) (全体事業) 事業費 628,540千円 事業着手年度 平成7年度	155

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 朝熊山麓公園施設 維持管理経費	34,078	朝熊山麓公園施設用地内の清掃、除草、ゴミ箱回収、トイレの清掃、芝刈について、地元及びシルバー人材センターへの委託により実施したほか、法令に基づいた浄化槽の維持管理、公園の環境維持と整備を行った。	155

(款) 2 . 総務費 (項) 2 . 地域振興費 (目) 3 . 辺地対策事業費

(単位 千円)

予算現額 134,453 千円
 決算額 55,063 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		43,000	11,703	360

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 携帯電話基地局設置事業	8,473	この事業は、矢持町における携帯電話の利用を携帯電話事業者3社と市との共同施工により、携帯電話基地局を設置し、利用可能とすることにより地域住民の生命・財産を守り、併せて地域振興を図るものである。	157

農 林 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 横輪・矢持地区活性化事業	13,654	<p>近年、横輪町・矢持町地域は過疎化が大きな問題となっているが、これらの地域の貴重な自然・歴史・文化が途絶えてしまうことのないよう「自然と共生する、平家ゆかりの郷『一字郷』を理念とし、都市住民との交流施設の整備を行い、地域の振興を図った。</p> <p>事業内容</p> <p>【横輪地区】 平成18年度からの繰越分 環境保全林登山道整備 L = 1,806m 遊歩道整備 L = 212.4m 遊歩道階段設置 1基 用地買収・補償 一式</p> <p>【矢持地区】 ○平成18年度からの繰越分 山道整備 L = 2,713m 看板設置 1基</p> <p>全体事業 事業費 186,724千円</p> <p>事業概要</p> <p>【横輪地区】 宮山整備 A = 1.5ha 管理施設整備 A = 2,267m² おせん淵整備 L = 212.4m 横輪環境保全林整備 L = 1,806m</p> <p>【矢持地区】 山道整備 L = 5,513m サイン整備 一式</p> <p>事業期間 平成16年度～平成19年度</p>	155

消 防 本 部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消防施設等整備事業	32,936	<p>矢持町地内に消防団車庫施設を含む消防施設建設事業の遂行のため用地を取得し、防災資機材庫及び避難所を併設した防災拠点としての消防団車庫を新築した。</p> <p>建築工事 30,450千円 木造平屋建 151.46m² 用地買収 1,930千円 321.64m² 設計変更 499千円</p>	155

(款) 2 . 総務費 (項) 3 . 徴税費 (目) 2 . 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 120,736 千円
 決算額 120,032 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			723	119,309

課税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 固定資産評価システム経費	68,894	<p>適正・公平な課税のため、また次回評価替えに向けての準備作業のため、以下の業務を行い、その経費を支出した。</p> <p>土地鑑定評価業務 31,736千円 平成21年度評価替えに活用するための、不動産鑑定評価の実施。</p> <p>土地鑑定評価時点修正業務 5,103千円 平成18年評価替え時に決定した鑑定評価額を、19年度に引き続き地価下落等に伴う変動を反映させ現状に則した価格とするための時点修正。</p> <p>固定資産土地評価及び地番図家屋図修正業務 31,784千円 土地分合筆や、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込み。</p> <p>家屋評価システム運用保守 189千円 家屋評価システムの安定稼働維持のためのソフトウェア保守委託。</p> <p>固定資産評価システム保守 82千円 固定資産評価システムの安定稼働維持のための機器保守委託。</p>	159

収税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . コンビニ収納経費	587	<p>納税者の利便性・サービスの向上、納付機会の拡大を図るために軽自動車税のコンビニ収納を実施した。</p> <p>コンビニ収納 8,539件 納付額 43,783,400円 収納代行業者手数料 524,626円 電話回線使用料 62,810円</p>	159
2 . 徴収管理一般経費	34,385	<p>高額滞納者等の整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、徴収率の向上を図った。</p> <p>移管件数 60件 移管総額 51,467,369円 負担金 17,336,000円 内訳：均等割額 100,000円 処理件数割額 170,000円×60件 徴収実績割額 7,036,000円 (前々年度徴収実績の10%)</p> <p>口座振替の推進を図るため、金融機関報奨金制度を設け、金融機関に新規の口座振替に対し、報奨金を支払った。(150円/件) 実績 1,750件 262,500円</p>	159

(款) 2 . 総務費 (項) 7 . 監査委員費 (目) 1 . 監査委員費

(単位 千円)

予算現額 30,718 千円
 決算額 30,677 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				30,677

監査委員事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 工事等技術調査委託経費	56	随時監査として工事監査を2件実施した。監査の執行にあたっては、専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。	165

(款) 3 . 民生費 (項) 1 . 社会福祉費 (目) 1 . 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,314,862 千円
 決算額 1,301,201 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
50,896	357,372		23,458	869,475

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 高額療養費資金貸付事業	1,488	高額療養費の支給を受けるまでの間、支払に必要な資金を貸付けることにより、当該世帯の生活の安定を図った。 ・貸付件数 23件	169

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 福祉ボランティア育成事業負担金	7,844	ボランティア活動事業を推進するため、伊勢市社会福祉協議会が実施するボランティアコーディネーターの配置等福祉ボランティア育成事業に対し支援し、地域住民の福祉ニーズに応じたボランティア団体活動への支援、育成の拡充を図った。	167
2 . 民生委員協議会補助金	11,276	各地区民生委員・児童委員の研修活動及び地域住民における要保護者や老人・母子家庭・身体障がい者などの生活実態を把握するとともに、適切な相談・助言・指導などの福祉活動を行った。	167
3 . ふれあいのまちづくり事業補助金	4,975	地域にふさわしい福祉サービスを推進していくため、伊勢市社会福祉協議会が実施する事業に対し補助し、相談事業の充実や社会福祉施設との連携、民生委員・市民ボランティアなど様々な人々が交流して住民が共に支え合う地域社会づくりを図った。	167
4 . 福祉健康センター施設維持補修事業	7,298	老朽化により不具合が生じていた中央監視装置の更新工事を実施し、安全で快適な利用の提供に努めた。 中央監視装置(空調ETC)取替 一式	167
5 . 婦人相談員設置事業	2,185	婦人相談員を設置し、女性の福祉全般にわたる人権尊重と生活の安全と自立を支援し、女性の福祉向上を図った。 (平成19年度実績) 相談件数 実人員73人 延べ217件	169

二見総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 老人福祉センター等管理事業	8,133	地域の高齢者や市民に対し、各種の相談業務や健康増進事業及び教養娯楽等のための便宜を図り、明るく生きがいのある生活支援の場として貸し出し施設の維持管理を行った。	167

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	3,869	地域の老人をはじめとする住民の教養の向上及びレクリエーション等を行うコミュニティの場として設置された施設で、小俣町商工会、度会教育会館とで合同会館の施設維持管理にあたった。	167
2. 保健福祉会館管理事業	12,303	小俣管内を6地区に分け各々に保健福祉会館を設置し、地域の老人をはじめとする住民の健康増進・教養の向上及びレクリエーション等の場とした。	167

御園総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ハートプラザみその等管理事業	23,782	地域の福祉活動、健康増進、文化・教養の高揚など市民の活動拠点施設として利用された。 年間利用者延人数 49,341人	167
2. ハートプラザみその等整備事業	6,587	ハートプラザみその浄化槽切替工事 公共下水道の接続による不要となる浄化槽を防災施設貯水槽としての利用をすることを目的とした改修工事を行った。 排水設備接続工事 L=5.7m 304,500円 浄化槽切替工事 一式 3,701,250円 浄化槽設備清掃業務委託 一式 1,537,200円	167

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 255,434 千円
決算額 249,887 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
59,098	57,906		1,968	130,915

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者地域生活支援事業	13,639	1. 障害者地域生活相談支援事業 障がいのある人、その保護者、介護者などからの相談に応じ、情報提供等や地域で自立して生活が送れるように必要な援助を行うため、高柳商店街に設置されている障害者相談支援センターの運営を社会福祉法人へ委託し、訪問、来所、電話等により相談を受け付け、福祉サービスに関する情報提供、ケースマネジメント等を実施した。 ・委託先 社会福祉法人 三重済美学院 ・委託期間 平成19年4月1日から平成20年3月31日 2. 障がい者体育祭開催事業 障がいのある人の社会参加等を図るため、障害者体育祭実行委員会に事務局として参加し、開催を支援した。 ・日時 平成19年9月22日(土) ・場所 県営サンアリーナ ・参加人数 380人 (障がい者・家族 267人、ボランティア等 113人)	169

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 障害者福祉運営対策経費	40,003	<p>1. 障害程度区分認定審査会対策事業 障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービスの支給決定に必要な認定調査員による訪問調査等を実施した。 また、障害者自立支援法及び伊勢市障害者介護給付費等の支給に関する審査会条例に基づき、伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を通じ、障害程度区分認定等に係る審査業務を行った。 (1) 調査件数 106件 (2) 審査会判定件数 100件</p> <p>2. 障害者自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 (1) 助成団体 11団体 (2) 補助金額 1,611,000円</p>	169
3. 障害者保健福祉計画策定事業	1,850	<p>障害者福祉施策の推進を図るため、障害者基本法及び障害者自立支援法に基づく新たな障害者保健福祉計画を策定するに先立ち、障がいのある方やその家族の意向及びサービス需要の調査を実施した。</p>	169
4. 障害者啓発事業	466	<p>1. 障害者週間啓発事業 12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発と作品展示を実施した。</p> <p>2. ふれあい交流事業 陶芸教室を実施することにより、障がいのある方とそうでない方の交流を深め、相互の理解を深めた。</p>	169
5. 障害者手当等給付事業	58,350	<p>在宅で重度の障がいのある人などに対し、その重度障がいによって生じる負担軽減を図るため、特別障害者手当等を支給した。</p>	169
6. 障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業	31,399	<p>自立支援法への移行における激変緩和措置として、事業所等の費用負担の削減等を図った。 ・通所サービス利用促進事業 ・グループホーム等緊急整備事業 ・視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業</p>	169
7. 障害者通所等支援事業	4,403	<p>通所訓練施設等通所者の障害者自立支援法に基づく利用者負担金の一部を助成することで、福祉サービスの利用を促進し、障害者福祉の推進を図った。</p>	169
8. 障害者小規模作業所対策事業	75,660	<p>1. 小規模授産所運営委託料 在宅で心身に障がいのある人の社会的自立と社会参加の促進を図るため、小規模作業所の運営を行い、福祉の増進を図った。</p> <p>2. 小規模授産所入所負担金 市外の小規模作業所へ通所する障がいのある人について、その入所経費を設置する市町へ負担することにより福祉の増進を図った。</p> <p>3. 障害者小規模作業所運営事業費補助金 民営の小規模作業所に対して、運営事業費を助成することで運営基盤を安定させ、在宅で精神に障がいのある人の社会参加促進及び自立更生を図った。</p>	169
9. 障害児介護給付事業	24,117	<p>障がい児障害福祉サービスの利用について、給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。</p>	169

(款) 3 . 民生費 (項) 1 . 社会福祉費 (目) 3 . 身体障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 385,761 千円
 決算額 362,545 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
148,908	75,729		30,247	107,661

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 身体障害者情報保 障事業	5,673	1 . 手話通訳設置事業 手話通訳者を窓口を設置することにより、コミュニケーションがスムーズになり、聴覚障がいのある人の社会参加の促進を図った。 窓口対応件数(4月～3月) 202件 2 . 手話通訳者派遣事業 意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者を派遣することにより、聴覚障がいのある人の社会参加の向上を図った。 通訳者派遣件数(4月～3月) 118件 3 . 手話通訳者養成事業 手話通訳のできる人を増加することにより、手話通訳者派遣事業の充実を図った。 手話通訳者養成講座基本課程 (7月～1月) 10名受講 4 . 手話奉仕員養成事業 手話のできる人を増やしていくことにより、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図った。 手話奉仕員養成講座入門課程 (7月～12月) 23名受講 5 . 手話通訳者養成講座指導者養成助成事業 手話通訳者養成のための指導者を増やすことにより、手話通訳者養成事業の充実を図った。 実践課程(広島会場) 聴覚障がい者2名受講 6 . 要約筆記者派遣事業 要約筆記者を派遣することにより、難聴者・聴覚障がい者の社会参加の向上を図った。 筆記者派遣件数(4月～3月) 35件	171
2 . 障害者外出支援事 業	5,733	1 . 重度障害者タクシー料金助成 在宅の重度障がい者に対し、タクシー料金を助成することにより、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 乗車回数 7,429回 2 . 重度身体障害者リフトタクシー助成事業 下肢、体幹機能の障がいがあり車いすを利用する方を対象に、リフト付タクシーの利用料金を助成し、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 乗車回数 101回	171
3 . 身体障害者生活環 境等整備事業	23,638	1 . 日常生活用具給付事業 在宅の重度心身障がい者(児)等に対し、特殊ベッド、入浴補助用具等を給付することなどにより、日常生活の安定を図った。 給付件数 1,795件 福祉電話基本料負担 1回線 2 . 重度心身障害者住宅改造補助金 重度心身障がい者(児)のいる世帯を対象に、当該障がい者の在宅生活を維持するための住宅改造に補助金を交付し、住宅環境の整備を図った。 補助件数 2件	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 身体障害者福祉運営対策経費	75,787	<p>1. 身体障害者デイサービス事業 在宅生活を送る身体障がい者が社会適応訓練や創作活動等を行うデイサービス事業の運営を社会福祉協議会へ委託した。</p> <p>(1) 重度身体障害者デイサービス運営費(くじら) 実利用人数 20人 利用回数 2,500回 給食 2,394回 入浴 327回</p> <p>(2) 身体障害者福祉センターデイサービス運営費(パソコン教室等) 実利用人数 64人 利用回数 1,141回</p> <p>2. 身体障害者福祉センター運営委託事業 身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を委託した。</p>	171
5. 補装具費支給事業	19,733	<p>失われた身体機能を補うための補装具の交付及び修理を行い、日常生活や社会生活の向上を図った。 交付及び修理延べ件数 270件 (内訳 交付188件 修理82件)</p>	171
6. 身体障害者医療給付事業	23,827	<p>身体障がい者の障がいを軽減したり取り除くなど、身体障がい者の更生に必要な医療費の軽減を図った。 診療延べ件数 369件</p>	171
7. 身体障害者介護給付事業	201,777	<p>身体障がい者障害福祉サービスの利用について、介護給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。</p>	171
8. 身体障害者訓練等給付事業	6,377	<p>身体障がい者障害福祉サービスの利用について、訓練等給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。</p>	171

(款)3. 民生費 (項)1. 社会福祉費 (目)4. 知的障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 483,674 千円
決算額 472,855 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
240,297	124,680		1,673	106,205

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 知的障害者生活環境等整備事業	3,686	<p>1. 知的障害者生活ホーム入所者措置費 就職もしくは、小規模授産所に通所している知的障がい者に、生活の場を提供し、自立生活の向上を図った。 実利用人数 3人 入居延べ利用月数 12月</p> <p>2. 職親措置費 知的障がい者を、事業の経営者のもとで自活に必要な生活指導及び技能習得訓練等を行い、雇用の促進と職場における定着性を高めた。 委託者数 6人</p>	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 知的障害者介護給付事業	464,292	知的障がい者障害福祉サービスの利用について、介護給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	173
3. 知的障害者訓練等給付事業	4,875	知的障がい者障害福祉サービスの利用について、訓練等給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	173

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 精神障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 19,942 千円
決算額 16,358 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,777	3,738			5,843

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 精神障害者介護給付事業	13,832	精神障がい者障害福祉サービスの利用について、介護給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	173
2. 精神障害者訓練等給付事業	2,495	小規模作業所等に通所する精神に障がいのある人に対して通所旅費を助成することにより、社会参加の促進と生活意欲の向上を図った。	173

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 6. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 633,549 千円
決算額 622,032 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	228,297			393,735

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 心身障害者医療費支給事業	221,407	身体障害者手帳の1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 1 医療費等の助成 213,417千円 (1) 延人数 17,231人 (2) 延件数 43,291件 2 証明書料の助成 7,990千円 (うち郵送料 479) (1) 延件数 37,552件	173
2. 65歳以上心身障害者医療費支給事業	166,165	老人保健法による医療を受けている、身体障害者手帳の1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 1 医療費等の助成 166,165千円 (1) 延人数 21,655人 (2) 延件数 58,183件	173

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 乳幼児医療費支給事業	123,255	義務教育就学前までの乳幼児で、受給資格のある方に対して医療費（4歳以上は入院の医療費のみ。）を助成した。 1 医療費等の助成 112,266千円 （1）延人数 28,221人 （2）延件数 57,122件 2 証明書料の助成 10,989千円 （1）延件数 54,947件	173
4. 一人親家庭等医療費支給事業	72,249	母（父）子家庭の親及び子、または父母のいない子で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 1 医療費等の助成 67,066千円 （1）延人数 14,388人 （2）延件数 27,067件 2 証明書料の助成 5,183千円 （1）延件数 25,915件	173
5. 寡婦医療費支給事業	19	かつて20歳未満の者を扶養していた、配偶者と死別し、現在婚姻状態にない60歳以上70歳未満の女性で、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。 1 医療費等の助成 18千円 （1）延人数 4人 （2）延件数 4件 2 証明書料の助成 1千円 （1）延件数 4件	173

（款）3．民生費 （項）1．社会福祉費 （目）8．心身障害児通園施設費

（単位 千円）

予算現額 36,449 千円
決算額 36,153 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	372		10,436	25,345

こども課

（単位 千円）

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. おおぞら児童園運営事業	10,660	障がいをもつ児童に通園による機能回復訓練・言語訓練・音楽療養・療育指導等を行い、その育成を図った。 発達療育 延べ 1,081人 言語訓練 延べ 178人 感覚運動遊び 延べ 1,089人 相談 延べ 94人	175
2. おおぞら児童園管理事業	2,549	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	175

(款) 3 . 民生費 (項) 2 . 老人福祉費 (目) 1 . 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 2,733,665 千円
 決算額 2,698,285 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,572	6,823		94,895	2,582,995

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 老人福祉施設等建設補助金	3,000	介護保険事業計画の配置構想を実現するために行う高齢者福祉施設と地域との共生事業に対して補助を行った。 補助件数 1件	177

長寿課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 生きがい活動支援通所事業	10,125	在宅の高齢者で、介護保険で「自立」と認定された高齢者、又は自立とみなされる虚弱な高齢者を対象に、デイサービスセンター等への通所により、教養講座・日常動作訓練・趣味創作活動等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消・心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	175
2 . 在宅介護支援事業	6,302	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行った。	175
3 . 外出支援サービス事業	4,635	65歳以上のねたきり及び下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、移送用車両(リフト付タクシー等)の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。	175
4 . 緊急通報体制等整備事業	14,810	65歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者等に対し緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。	177
5 . 老人乗合バス運賃助成事業	18,167	75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券(100円×40枚の回数券)を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担の軽減を図った。 交付者数 9,156人	177
6 . 老人クラブ補助金	12,642	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。また、伊勢市老人クラブ連合会が行う健康づくり事業に対し助成を行った。 単位老人クラブ助成金 8,606千円 単位老人クラブ重点配分予算分 167千円 伊勢市老人クラブ連合会助成金 3,389千円 健康づくり事業 480千円	177

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 敬老金支給事業	11,695	市内に在住する77歳、88歳、99歳の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老金を贈呈した。 77歳 5,000円 1,410人 88歳 10,000円 415人 99歳 10,000円 33人	177
8. 老人ホーム入所措置事業	223,096	おおむね65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。 延べ措置人員 養護老人ホーム 1,572人	177
9. 宅老施設整備補助金	2,000	在宅の高齢者等の健康の保持及び福祉の増進を図るため、宅老施設の整備を行った大湊町振興会に対して、その整備に係る経費について補助金を交付した。	179

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館運営事業	3,324	地域住民で組織する各保健福祉会館運営委員会(6館)において計画する事業の実施、及び保健福祉会館を会場に、高齢者を対象とした健康体操教室を開催した。	177

(款)3. 民生費 (項)3. 児童福祉費 (目)1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 316,721 千円
決算額 310,283 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,951	27,663		14,182	245,487

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担金	2,000	過疎地域の利便を図り、児童送迎に対する地域格差を解消するため、社会福祉法人一宇郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。	179
2. 家庭相談員設置事業	2,082	福祉事務所に家庭児童相談室を設置し、家庭相談員(常勤嘱託)を配置して、家庭における児童養育に関する種々の問題についての相談・指導を行った。 平成19年度相談受理件数:174件	179
3. 子育て支援短期利用事業	152	出産、病気等の緊急一時的な理由があるとき、児童養護施設で児童を保護し、経済的理由等で一時的に保護が必要となった母子を母子生活支援施設で保護するため、3施設にと委託契約を締結し、事業を実施した。 延べ利用日数 22日	179
4. 乳幼児健康支援一時預り事業	9,257	病気回復期にある児童を集団保育が困難である間、専用スペースで預かることにより保護者の子育てと就業の両立支援を行った。 延べ利用人数 267人	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. ファミリーサポートセンター事業	7,512	児童福祉の向上と、保護者の仕事と家庭の両立支援を目的として、会員相互の信頼と了解の上で、一時的に児童を預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営の充実を図った。 年度末会員数 426人 活動件数 2,629件	179
6. 次世代育成支援対策事業	120	伊勢市次世代育成支援対策推進協議会の開催を行った。 第1回開催 平成19年11月22日 第2回開催 平成20年2月25日	179
7. 放課後児童対策事業	25,407	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均利用児童数 240人	179
8. 放課後児童クラブ設備整備補助金	300	放課後児童クラブの開設に伴い、その活動に要する遊具、図書及びロッカー等を整備するための経費を助成することにより、放課後児童クラブの円滑な運営と児童の健全育成の向上を図った。 対象箇所数 1箇所	179
9. 一般保育事業補助金	46,673	公立保育所職員と民間保育所職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所に対し補助した。 民間保育所 14箇所	179
10. 低年齢児保育推進事業補助金	5,673	0・1歳児にゆとりのある保育を実施することにより、児童の心身の発育発達を一層促すため、延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、0・1歳児が定員の1割以上入所している保育所で、基準を超えて配置する保育士に必要な経費を補助した。 民間保育所 5箇所 対象児童 延べ1,202人	179
11. 延長保育促進事業補助金	37,858	通常の保育時間を超えて長時間保育（9時間以上）を実施している保育所に対して、職員の加配及び処遇改善を図るために要する経費を補助した。 民間保育所 13箇所 うち国交付金対象（11時間以上）4箇所	179
12. 地域活動事業補助金	3,433	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所 14箇所	179
13. 障害児保育事業補助金	10,064	障がいをもつ児童を受け入れている保育所で、基準を超えて保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所 7箇所 対象児童（中度）4人 （重度）6人	179
14. 休日保育事業補助金	819	日曜・祝日等に保育を行う民間保育所に対して、その事業経費を補助した。 民間保育所 1箇所	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
15. 児童虐待防止事業	19	児童虐待の未然防止及び早期発見・早期対応をめざし、「伊勢市児童虐待防止ネットワーク会議」を設置して関係機関の連携強化を図った。また、市民への意識啓発活動を行った。 個別ケース検討会議 65回(対象児童数39人)	179

二見総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 放課後児童対策事業	11,698	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均登録児童数 93人	179

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 放課後児童対策事業	14,314	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 2館 毎月初日の平均登録児童数 118人	179

御園総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 放課後児童対策事業	10,173	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均登録児童数 80人	179

(款)3. 民生費 (項)3. 児童福祉費 (目)2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 1,862,834 千円
決算額 1,848,964 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
681,100	385,166		255,920	526,778

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童手当支給事業	916,885	12歳到達後最初の3月31日までの間にある児童を監護し、かつ定められた所得以下である者に児童手当を支給し、児童の健全育成を図った。 ・被用者児童手当 229,815千円 ・非被用者児童手当 66,160千円 ・特例給付児童手当 3,645千円 ・被用者小学校修了前特例給付 461,275千円 ・非被用者小学校修了前特例給付 155,990千円	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 児童入所施設措置事業	9,415	母子生活支援施設入所経費 18歳未満の児童を持つ母子世帯であって、その児童の福祉にかける母子を入所措置し、社会の共同生活に適応できるよう生活指導及び自立への支援を行った。 利用世帯及び入所期間 3世帯 平成19年4月～平成20年3月 助産施設入所経費 保健上助けが必要であるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置し、保健の向上を図った。 利用件数 1件	181
3. 民間保育所児童保育事業	922,664	民間保育所運営費を支弁した。 (国庫負担金基準による) 民間保育所 14箇所 延べ児童数 14,731人	181

(款)3. 民生費 (項)3. 児童福祉費 (目)3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 514,566 千円
決算額 512,297 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
169,343				342,954

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 母子自立支援員事業	2,098	母子自立支援員を設置し、母子家庭等及び寡婦の相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び指導を行うとともに母子寡婦福祉資金貸付に係る業務を行った。 相談件数 280件 貸付利用件数 11件	181
2. 母子福祉事業補助金	228	母子家庭及び寡婦の生活の安定と向上を図るため、団体が実施する母子家庭の生活支援及び自立支援等の事業の費用を補助を行った。 補助団体数 1件	181
3. 自立支援教育訓練給付金事業	138	雇用保険制度の教育訓練講座を受講した母子家庭の母に対し、講座終了後に、受講料の一部を助成した。 助成件数 3件	181
4. 児童扶養手当支給事業	509,533	父親と生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、受給者に対し児童扶養手当を支給した。 受給者数 1,052人 全額支給停止者 158人 (平成20年3月31日現在)	181

(款) 3 . 民生費 (項) 3 . 児童福祉費 (目) 4 . 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,539,568 千円
 決算額 1,516,651 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,058	21,716		322,978	1,169,899

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1 . 臨時保育士等経費	242,051	正規職員の不足を臨時職員等で補った。 ・嘱託保育士 86人 ・嘱託看護師 11人 ・臨時調理員 8人 ・臨時業務員 20人 ・パート保育士 5人	181
2 . 入所児童処遇経費	138,589	公立保育所の入所児童の健全な育成と円滑な保育所運営を図った。 市立保育所 14箇所・延べ 17,942人	181
3 . 低年齢児保育推進事業	4,191	延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれが多い方の1割以上0・1歳児が入所している保育所において0・1歳児に対して国の基準を超えて保育士を配置した。 市立保育所 2箇所・対象児童 延べ1,202人	181
4 . 保育所地域活動事業	2,350	公立保育所全施設において、地域住民が主体的に子育てに関わるようにし、多世代の交流を促進した。 市立保育所 13箇所	181
5 . 地域子育て支援センター事業	29,582	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、明倫保育所	181
6 . 障害児保育事業	64,615	障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士を加配した。 市立保育所 12箇所 対象児童 (中度) 18人 (重度) 20人	181
7 . 産休等代替職員経費	2,734	産休等職員の代替職員を配置した。 代替職員 6人	181
8 . 延長保育促進事業	9,562	11時間を超えて長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所	181
9 . 家庭支援推進保育事業	8,984	対象児童が6人以上または定員の20%以上入所する保育所で、保育士を加配し、指導計画の作成や家庭訪問を実施するなどにより家庭に対する指導を行った。 市立保育所 2箇所	181
10 . 休日保育事業	3,027	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所	181

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
11. 一時保育促進事業	4,262	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 市立保育所 1箇所	181
12. 市立保育所施設維持補修経費	7,664	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を維持補修し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 14箇所	181
13. 研修等参加経費	115	市立保育所職員の資質向上を図るため、各種研修を受講した。 三重県保育総合研修会 東海北陸研究大会 中部地区幼児教育研修会 北信越・東海地区保育所主任保育士研修会	181
14. 市立保育所管理運営経費	54,341	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を運営管理し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 14箇所	183
15. 市立保育所施設整備事業	10,869	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。 浜郷保育所遊具設置工事 大世古保育所照明設備改修工事 明倫保育所空調設備改修工事 高城保育園空調設備改修工事 さくらぎ保育所ほか調理室床改修工事	183

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域子育て支援センター事業	9,196	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 小俣子育て支援センター	181
2. 一時保育促進事業	2,280	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 小俣子育て支援センター	181

(款) 3 . 民生費 (項) 3 . 児童福祉費 (目) 5 . 児童館費

(単位 千円)

予算現額 54,041 千円
 決算額 53,636 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,290			42,346

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 児童館管理運営事業	7,504	公設民営の児童館(中央児童センター)を利用する児童に、適切な遊び、助言指導等を与え、児童の健全育成を図る。 対象施設数 1館 年間利用延人数 22,964人	183
2 . 地域児童館管理運営事業	18,950	市営の児童センターを利用する児童に遊びや運動等の指導を行い、児童の健全育成を推進した。 対象施設数 2館(あさま・黒瀬) 年間利用延人数 9,490人	183
3 . 民間児童館運営事業補助金	10,261	民設民営の児童館(明照児童館)に来館する児童に、遊びや運動等を指導する等して、児童の健全育成を図るため、児童館運営が円滑に行われるよう助成した。 対象施設数 1館 年間利用延人数 18,127人	183

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 児童館管理運営事業	14,508	地域の子どもたちに健全で楽しい遊びを提供し、さまざまな活動を通じて異なる年齢の子どもたちの中での仲間意識を育て交流の輪を広げるための居場所をつくった。 2館 年間利用延人数 6,782人	183

御園総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 児童館管理運営事業	2,413	児童の健全育成や交流の場として、児童館教室の開催、遊び場の提供を行った。 年間利用延人数 6,157人	183

(款) 3 . 民生費 (項) 5 . 人権政策費 (目) 1 . 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 83,043 千円
 決算額 81,135 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	27,151			53,984

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 人権施策推進事業	1,058	伊勢市人権施策推進協議会の事業として、人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、市内小中学校の児童生徒を対象とした人権尊重啓発ポスター募集事業や人権セミナーの開催など、市民の人権意識の高揚に努めた。	185

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 641,408 千円
 決算額 630,298 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
46,313	50,156	13,400	10,733	509,696

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 伊勢広域環境組合 負担金(斎場)	38,577	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 475千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 38,102千円(実績割100%)	189
2 . 伊勢広域環境組合 負担金(し尿)	218,077	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,385千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 191,225千円(実績割100%) 建設経費 22,417千円(平等割10%人口割90%) 公債費 2,050千円(元利補給金)	189
3 . 生活排水対策啓発 事業	800	各家庭における生活排水対策の啓発活動の推進により、市民の生活排水対策意識の高揚と公共用水域の水質保全を図った。	189
4 . 狂犬病予防事業	613	狂犬病予防法に基づき、獣医師会と協力して、畜犬登録受付と狂犬病予防注射を行った。 畜犬登録件数 739頭 狂犬病予防注射受付件数 5,822頭	189
5 . 防疫事業一般経費	3,103	煙霧消毒機を希望自治会へ貸出す等により、市民の生活衛生を守った。	189
6 . 環境審議会経費	142	伊勢市環境基本計画の進捗状況等について審議するとともに、新たな課題や社会情勢等の動向を考慮の上で、環境保全について提言いただいた。	189
7 . 合併処理浄化槽設置 整備事業補助金	152,218	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、小型合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及を図った。 公共下水道認可区域外 384基 145,490千円 公共下水道認可区域内 54基 6,728千円	189
8 . 合併処理浄化槽普及 推進一般経費	220	三重県合併処理浄化槽普及促進協議会において、国・県に対する陳情、請願、合併処理浄化槽の普及啓発や情報交換などを行った。	189
9 . 地域新エネルギー ビジョン策定推進 事業	6,103	地域レベルでの地球温暖化対策としてのCo2排出抑制やエネルギーの安定供給を図るため、新エネルギー導入促進のためのビジョンを策定した。	189

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. 家庭用新エネルギー普及推進事業	3,324	新エネルギーの導入促進および普及啓発のため、家庭用新エネルギーシステム設備設置者に対し補助金を交付した。 平成19年度実績 太陽光発電設備 5件 太陽光発電設備 + CO2冷媒ヒートポンプ給湯器 17件	189
11. 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助金	719	上水道施設のない高麗広地区での良質で安全な飲料水確保のため、自家用井戸や浄水施設等設置者に対し補助金を交付した。 平成19年度補助件数 3件	189
12. 放置自動車対策経費	70	伊勢市放置自動車の発生の防止及び適正処理に関する条例に基づき、市道、公園等の放置自動車を適正に処分した。 平成19年度処分台数 5台	189
13. 衛生一般経費	334	市民の公衆衛生の確保を図るため、市内公衆浴場10件に対する支援策として、母の日・父の日・敬老の日における集客用の物品を提供した。	189
14. 犬猫不妊手術費等補助金	1,776	犬猫の適正飼育を図るため、市の要綱に基づき不妊手術費の一部助成を行った。 平成19年度補助件数 犬215匹 猫325匹	189
15. 環境リサイクルフェア等開催事業	1,007	環境問題に対する意識啓発のため、また、環境に関する市民の理解と協力を得るため、各種イベントを開催した。 6月23日 映画「不都合な真実」上映会 開催場所 伊勢市生涯学習センター 10月21日 環境リサイクルフェア 開催場所 朝熊町県営サンアリーナ 主催 伊勢市ごみ問題市民会議 伊勢市生活排水対策活動推進協議会 伊勢市（環境課・資源循環課）	191
16. 小型風力発電管理経費	305	市内4箇所に設置している小型風力発電の保守点検を実施した。	191

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営事業	8,693	地域住民の福祉の充実及び向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。また、平成19年4月1日からは民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し管理運営を行い、毎月4回程度のかわり湯を実施し、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成19年度利用者数 55,093人	189

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 2 . 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 676,307 千円
 決算額 672,197 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
319	319		27,359	644,200

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 一次救急医療事業	4,334	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう周知に努めた。 また、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED(自動体外式除細動器)を市の主要18施設に設置するとともに、市民が参加するイベントなど、一時的に必要なときに活用できるよう貸出用も配備した。	191
2 . 病院群輪番制病院 運営費補助金	31,116	病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院(市立伊勢総合病院、山田赤十字病院)が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。 平成19年度は18,839人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。	191
3 . 健康文化都市推進 事業	1,428	生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針に基づき生活習慣病予防を中心に健康づくり活動を推進した。また、健康文化週間及び健康の日の制定、健康づくりアドバイザー養成講座、重点事業への取組みとしてウォーキング大会等を実施した。	191

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 小俣保健センター 管理事業	9,838	住民の健康づくり、地域福祉の拠点として、平成17年4月に開館した小俣保健センターの管理、運営に係る経費を計上し執行した。	191

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 3 . 予防費

(単位 千円)

予算現額 158,085 千円
 決算額 157,924 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,698			154,226

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 予防接種事業	157,924	全ての定期予防接種を県内の登録医療機関で実施し、対象者に接種を行った。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。	191

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 4 . 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 520,592 千円
 決算額 512,886 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
88,535	79,568		2,007	342,776

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 基本健康診査事業	300,229	40歳以上の市民を対象に市内実施医療機関において、基本健康診査・骨粗しょう症検査・肝炎ウイルス検診の他、伊勢市独自で実施している腹部エコー検査を実施し、心臓病、脳卒中などの生活習慣病と高齢者の心身機能の低下を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	193
2 . がん検診事業	202,074	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん(悪性新生物)を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	193
3 . 歯周疾患検診事業	5,670	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 2,085人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	193
4 . 成人健康相談事業	1,073	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談、たばこ相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ205回、1,358人の相談を行った。	193
5 . 訪問指導事業	1,002	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族745人に対し、生活習慣病の予防や介護予防、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	193

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 5 . 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 56,618 千円
 決算額 53,952 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
502	367		367	52,716

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 子育て支援教室事業	495	妊婦及びその配偶者に対し、妊娠・分娩・子育てに関する知識の普及、夫の育児参加、親同士の仲間づくりを目的に開催した。夫婦参加の沐浴実習、妊婦模擬体験、絵本の読み聞かせ体験などを実施し、健全な母性育成と子育て支援を図った。273人の参加があった。	193
2 . 発達支援教室事業	1,891	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。928人の参加があった。	193

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 幼児歯科保健事業	3,527	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室24回 862人 (中央保健センター12回, 小俣保健センター12回) ・3歳児フッ化物塗布24回 666人 (中央保健センター12回, 小俣保健センター12回)	193
4. 子育て相談事業	595	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域で開催し、延べ3,738人の参加があった。	193
5. 新生児等訪問指導事業	886	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることにより、それぞれが持っている不安、悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児866人、乳幼児351人、妊産婦911人の訪問を実施した。	193
6. 妊婦・乳児健康診査事業	28,388	妊娠中に2回(前期、後期)及び乳児期に2回(4ヶ月、10ヶ月)計4回、県下の医療機関に委託して、健康診査を実施した。妊婦は延べ2,175人、乳児は延べ2,027人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	193
7. 不妊治療費助成事業	5,398	医師が必要と認めた不妊治療を受けた夫婦に対し、不妊治療費に要する費用の一部助成(費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで)を行った。 一般不妊治療49件、特定不妊治療32件に助成を行った。	193

(款)4. 衛生費 (項)1. 保健衛生費 (目)6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 14,722 千円
決算額 14,609 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,401	11,208

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市営墓地管理一般経費	2,516	市が管理する大世古墓地及び大湊墓地について、管理及び清掃等の墓地環境の整備を図った。	195
2. 共同墓地整備事業補助金	10,918	共同墓地内の環境衛生の改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し、費用の一部を補助した。 平成19年度補助実績 12箇所	195

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市営墓地管理一般経費	1,175	市が管理する小俣若山墓地・納骨堂の維持管理を行い、墓地環境の保全と管理及び使用者の利便を図った。	195

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 7 . 診療所費

(単位 千円)

予算現額 81,681 千円
決算額 71,903 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			68,050	3,853

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 内科診療所運営事業	65,665	休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、夜間や休日における診療の不安を軽減し、市民の健康管理を図った。	195
2 . 歯科診療所運営事業	6,238	休日・夜間応急診療所を開設し、休日における診療の不安を軽減し、市民の健康管理を図った。	195

(款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 8 . 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 4,272 千円
決算額 4,231 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,231

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 調査事業	4,231	公害防止、環境保全を図るため、水質・騒音・振動・悪臭等の調査を行い、結果を広報等で周知した。	195

(款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 1 . 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 1,124,866 千円
決算額 1,123,741 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			32,367	1,091,374

資源循環課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	1,041,821	4市町で構成する伊勢広域環境組合にて、ごみの適正処理を行った。 構成市町村(4市町) 伊勢市、明和町、玉城町、度会町 負担金内訳 共通経費 5,809千円 運営経費 465,689千円 建設経費 281,796千円 公債費 288,021千円 清掃事業所分担金 506千円	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. きれいなまちづくり推進事業	700	伊勢市ごみ問題市民会議に、ごみ問題及びごみ減量・資源化対策活動の業務委託を行い、啓発活動を推進した。 (概要) 名称 伊勢市ごみ問題市民会議 構成 委員30名 参与6名 顧問1名 設立 平成18年5月16日 内容 本部事業 ・伊勢市環境リサイクルフェアの開催 減量、資源化事業 ・ごみ分別、減量の指導、啓発の実施 環境美化事業 ・早朝清掃等の実施	197
3. 廃棄物集積所設置補助金	11,426	ごみの散乱防止及び良好な生活環境の確保、並びに美化意識の高揚を図ることを目的にごみ集積所の補助事業を行った。 交付申請自治会数 31自治会 補助金交付基数 92基 補助金交付額 11,426千円 補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	197
4. 不法投棄防止対策推進事業	1,562	不法投棄パトロール、警告看板等による不法投棄防止及び不法投棄された廃棄物の撤去、適正処理を行った。また、不法投棄に対して広域的に取り組むため、6市町で構成する伊勢地域不法投棄防止対策連絡会へ参加した。 (連絡会概要) 名称 伊勢地域不法投棄防止対策連絡会 構成市町 6市町(会員) 伊勢市、玉城町、南伊勢町、度会町、大紀町、明和町	197

二見総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 不法投棄防止対策推進事業	587	不法投棄物のパトロール、撤去業務、マップの作成等の業務を(社)伊勢市シルバー人材センターへ委託し、不法投棄の監視及び回収を行った。	197

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. きれいなまちづくり推進事業	17	小俣町地域において「まちをきれいにする一斉運動」を、午前8時から1時間程度、各自治区を中心にポイ捨てされたゴミを一掃するため、また、地球環境美化の一環として落ちているゴミを拾うことによって、ゴミを捨てない・汚さない心を確認しあう日として実施をした。 第1回 日時 平成19年9月2日(日) (大雨洪水警報発令により中止) 第2回 日時 平成20年3月2日(日) 実施場所 小俣町内一円 対象 伊勢市小俣町内に住む市民 参加者 2,383名	197

御園総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. きれいなまちづくり推進事業	88	<p>ポイ捨ての禁止やごみの減量化及び資源化に対する住民の意識と地域の連帯感を高め、実践活動を促進するため、各自治会を中心に一斉清掃を実施した。</p> <p>日時 平成19年5月27日(日)</p> <p>実施場所 御園町内一円</p> <p>対象 伊勢市御園町内に住む市民</p> <p>参加者 約700名</p>	197

(款)4. 衛生費 (項)2. 清掃費 (目)2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 99,274 千円
 決算額 97,161 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,384		55,679	40,098

資源循環課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 指定袋制度運営事業	55,679	<p>ごみの減量及び資源化を推進するため、可燃ごみ等の指定ごみ袋制を実施した。</p> <p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 可燃ごみへの資源物の混入の防止、ごみの減量と分別・資源化の推進 2. 危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止 3. 日常生活からのごみと事業活動から生じるごみとの区別化 <p>対象ごみ 可燃ごみ ペットボトル(御園町のみ)</p> <p>指定袋種類 4種類 【可燃ごみ】 3種類(大袋45ℓ、中袋30ℓ、小袋15ℓ) 【ペットボトル】 1種類(大袋45ℓ)</p> <p>材質等 【材質】高密度ポリエチレン製、充填剤入(消石灰系複合物5%以上) 【色】 乳白色半透明</p> <p>販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売(平成20年3月31日現在、販売店登録数約350店舗)</p> <p>販売価格 希望小売価格制度にて販売市の提示する希望小売価格</p> <p>【可燃ごみ】 大袋70円、中袋50円、小袋35円(税別) 【ペットボトル】 大袋(御園町のみ配布)無料</p>	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 2 ごみ減量・資源化 推進事業	324	<p>ごみの減量及び資源化を図るため、資源化推進事業として津村団地自治会に生ごみ処理機を貸与し、地域住民による生ごみ資源化の実証実験を行っている。</p> <p>生ごみ資源化実験事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ投入量 3,668kg ・取出し堆肥量 653kg ・堆肥化率 17.81% ・減量化率 82.19% 	197
3. 3 再生資源回収推進 事業	16,638	<p>自治会、PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対して回収量に応じ奨励金を交付し、ごみの減量・資源化を図った。</p> <p>再生資源回収事業奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録団体数 153団体 ・交付団体数 126団体 ・交付金額 16,638千円 ・回収量 2,767t <p>(内訳)紙類2,675t、布類34t、 缶類58t、びん12,827本 1kg当たり6円の奨励金 びんについては、1本当たり3円の奨励金</p>	197
4. 4 ごみ減量化容器設 置補助金	4,385	<p>生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付申請件数 171件 補助金交付基数 173基 交付金額 4,385千円 補助率 購入額の1/2、30千円を限度 	197
5. 5 資源回収ステー ション推進事業	11,728	<p>資源物の分別回収の充実に伴い、家庭から生じた資源物の保管困難な状況を解消し、ごみの減量・資源化を更に推進するために、明倫、神社及び厚生資源回収ステーションを建設した。また、地元自治会による地域集団回収モデル事業として管理運営及び一部資源物の自主売払いなど、管理運営形態の新しい取り組みを進めるため上区(西豊浜町)と辻久留台団地へ地域資源回収ステーションを設置した。</p> <p>設置場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明倫資源回収ステーション (尾上町219) ・神社資源回収ステーション (神社港420-6) ・厚生資源回収ステーション (八日市場町17-30) ・上区地域資源回収ステーション (西豊浜町44-2) ・辻久留台地域資源回収ステーション (辻久留町542-9) 	197

(款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 3 . じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 916,508 千円
 決算額 911,805 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		700	14,607	896,498

資源循環課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 廃棄物投棄場管理 一般事業	9,879	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、市民から搬入されたガレキ類(ブロック、レンガ、瓦、コンクリート)を適正に処理を行い、環境保全の推進を行っている。廃止部分の跡地利用にあたり地質構成ならびに廃棄物の状況を把握するとともに地下水調査用の観測井を設置した。 年間搬入量 574,800kg	199

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 清掃事業所改修事業	732	清掃事業所は昭和50年に建設後、30年以上が経過しており、内装、空調、照明等が著しく老朽化している。安全衛生上支障があるため年次的に改修・修繕等を行っている。平成19年度については、車庫の改修及びガス湯沸器の取替修繕を行った。 改修箇所 ・車庫 7箇所(車庫棟 柱) ・ガス湯沸器 1箇所(2階事務所)	199
2 . 再資源分別回収事業	47,558	ごみの減量・資源化のため、資源びん(無色、茶色、その他の色)、紙類(新聞・雑誌類・段ボール・紙パック)、綿製品、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、乾電池及び蛍光管の分別回収を行った。 ステーション設置状況 ・資源回収ステーション 約950箇所 ・ガラス類・陶磁器類回収場所 約400箇所 ・資源拠点回収ステーション 12箇所 (内訳)伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、北浜、宮本、沼木、大湊、東豊浜、いせトピア また、資源びんの収集について、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた合理化事業計画(旧伊勢地区)に基づき、市内の2業者に平成19年7月から収集運搬業務の委託を実施した。	199

二見総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 再資源分別回収事業	1,035	ごみの減量・資源化のため、資源びん(無色、茶色、その他の色)、紙類(新聞・雑誌類・段ボール・紙パック・紙製容器包装)、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、アルミ缶、廃食用油、乾電池及び蛍光管の分別回収を行った。 ステーション設置状況 ・資源回収ステーション 34箇所	199

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 廃棄物投棄場管理一般事業	380	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の埋め立て施設の環境保全の推進と適正な処理を行った。 年間搬入量 2,250kg	199

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	14,214	ごみの減量・資源化のため、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙類（新聞・雑誌類・段ボール・紙パック）、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、アルミ・スチール缶、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。 ステーション設置状況 ・資源物拠点集積所 60箇所	199
2. じん芥収集車購入事業	1,161	使用不能に近い車輛から、毎年計画的に買い替えを行い収集業務の効率を上げ市民サービスの向上を図った。	199
3. 廃棄物投棄場管理一般事業	10,707	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の埋め立て後に覆土を行い、環境保全の推進と適正な処理及び廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。 また、旧廃棄物投棄場内の投棄物の分別処理を行い将来にわたり清潔で快適な生活環境づくりと、この用地を有効利用をしていくため、廃棄物を掘り起こし資源のリサイクルを促進するため、トロンメルによるゴミ分別処理等を行った。 【平成19年度実績】 年間搬入量 312,240kg トロンメルによるゴミ分別処理 処理量 531.386m ³	199

御園総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	7,013	ごみの減量・資源化のため、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙類（新聞・雑誌類・段ボール・紙パック）、布類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。 ステーション設置状況 ・資源物回収ステーション 13箇所 ・資源ビン、ガラス類、陶磁器類集積所 28箇所	199
2. 廃棄物投棄場管理一般事業	355	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の埋め立て後に覆土を行い、環境保全の推進と適正な処理を行った。 年間搬入量 37,440kg	199

(款) 5 . 労働費 (項) 1 . 労働諸費 (目) 1 . 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 143,953 千円
 決算額 141,312 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,121	2,680		73,258	52,253

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 若年求職者等支援事業	498	カウンセリング事業を開催し、若年求職者に対する各種情報提供や相談業務を行い、早期就職の支援に努めた。	199
2 . 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金	29,084	(社)伊勢・鳥羽・度会中小企業勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。 この団体は、中小規模の事業所単独では実施が困難な福利厚生事業を提供することを目的として、平成11年4月に事業を開始した。主な事業は、慶弔給付などを行う生活安定事業、健康診断の斡旋・補助を行う健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催・提携施設の割引利用あっせん・各種チケットあっせんを行う余暇活動事業、教養文化講座の開催及び参加補助を行う自己啓発事業である。	201
3 . 勤労者ふれあい事業	1,500	(社)伊勢志摩勤労者福祉協議会等と共催して、'07勤労者ゆとりフェスティバルを10月21日に県営サンアリーナを会場に開催した。 当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約25,000人が参加し、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	201
4 . 高齢者労働能力活用事業費補助金	19,730	高齢化社会が急速に進むなかで、多様化する高齢者の就業ニーズに対応するため、臨時的、短期的な就業及び生き甲斐対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。	201
5 . 高齢者生活援助サービス事業費補助金	2,500	シルバー人材センターの会員が、高齢者・障害者及びその家族に対し、「伊勢市軽度生活援助事業」等の高齢者生活援助サービスを提供するにあたり、事業内容を検討する専門職員が必要となるため、これに係る人件費及び研修費・連絡調整などの経費補助を行った。	201
6 . サンライフ管理運営事業	6,554	勤労者を対象とした趣味づくり、健康づくり講座を開催することで、心身の健康保持、体力増強及び教養文化の向上に寄与するとともに、趣味づくり教室作品発表会を開催し、サンライフ伊勢の趣味づくり教室の活動を広く市民に周知・啓発した。 また、平成18年9月より指定管理者制度に移行した。	201
7 . 労働福祉会館管理運営事業	8,360	伊勢市労働福祉会館を管理運営し、労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与した。	201
8 . やすらぎ公園プール管理運営事業	9,609	やすらぎ公園プールを管理運営し、勤労者の福祉の増進と体力の向上に寄与した。	201

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 勤労者持家促進資金貸付金	53,000	市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。	201
10. 勤労者教育資金貸付金	10,000	市内に居住する勤労者とその扶養親族の教育資金について、東海労働金庫の貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで、勤労者の負担を緩和し、教育の充実を図った。利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。	201

(款) 6 . 農林水産業費 (項) 1 . 農業費 (目) 2 . 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 219,918 千円
 決算額 219,889 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			615	219,274

農 林 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 伊勢地域農業共済事務組合負担金	34,150	農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で財政負担した。	203

(款) 6 . 農林水産業費 (項) 1 . 農業費 (目) 3 . 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 23,708 千円
 決算額 20,648 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,734		26	18,888

農 林 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 若い農業者育成確保推進事業	500	次代の担い手育成確保に資するため、小学生を対象とした田植え・稲刈り等を体験する農業体験学習会を開催した。 東大淀小学校ほか4校 参加人数 延べ785人	203
2 . 農業経営基盤強化促進事業	254	優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。 認定農業者件数 100件(平成20年3月末現在)	203
3 . 農業近代化資金等利子補給補助金	941	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、県と共に、その経営規模拡大等のため借入れた資金の利子補給を行った。	203
4 . 遊休農地活用事業	683	自治会、ボランティア等により遊休農地へ農作物、景観作物等の種を蒔き、地域農業の振興や美しい景観をつくることを奨め、地域農業の活性化や農村環境(景観)の保全につなげ、遊休農地の活用を図った。	203
5 . 親子農業体験事業	228	担い手の不足が深刻化し、就農の促進や農業後継者の育成が重要となってきたため、農業高校生徒が講師をする農業体験を開催することにより、就農について考える機会を提供し、若者の就農促進の一助とした。	203
6 . 農業やってみませんか事業	308	農業の担い手不足が深刻になる中で、より多くの意欲ある人材の発掘が必要であるため、セミナー及び農業技術習得講座を開催し、定年退職者等で野菜作りに興味がある方が、野菜栽培への理解を深める一助とした。	203

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 農地維持促進経費	2,177	休耕田を利用して、県道玉川小俣線から県営大仏山公園までの市道湯田22号線の両側に景観形成作物を栽培し、農地の維持促進に努めるとともに景観の向上に寄与した。 ・栽培面積 約1ha	203
8. 生産調整推進対策事業	7,577	米穀の需給と価格の安定を図るため、地域水田農業ビジョンの実現に向け、生産調整実施状況の確認等を伊勢市水田農業推進協議会へ委託し、事業を推進した。	203
9. 農業振興地域整備促進経費	152	農業振興地域整備計画の適正な運用を図るため、農業諸情勢の変化、地域の土地利用の動向を踏まえ、地域の活性化に向けた適切で有効な土地利用との調整を図り、農用地の見直しを行った。	203
10. 伊勢市の食と農を考える会経費	239	生産者、消費者、農産物の流通・加工・販売関係者、行政の代表によって組織する「伊勢市の食と農を考える会」において、資源循環型農業・地産地消の店認定制度等について検討した。	203
11. 地産地消推進事業	928	米を中心とした日本型食生活の普及・定着を推進するため、地元食材使用の料理講習会を開催した。また、学校給食記念日に地元農産物を提供し、地産地消を啓発した。	203
12. 特色ある農産物づくり支援事業	250	生産者が行う先進的・又は地域の特色ある農産物づくりを支援し、地域農業の活性化を図った。 ・支援先 (有)お伊勢さん ・支援額 250,000円	203
13. 産直市支援事業	1,197	新鮮で安全な農産物を消費者に提供し、消費者との交流による中心市街地の活性化及び地域農業の振興へ繋げるため、中心市街地に産直市施設を設立し、農業団体等による地元農産物の販売を支援した。	203

(款)6. 農林水産業費 (項)1. 農業費 (目)4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 74,260 千円
決算額 73,461 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	245		45,156	28,060

農 林 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二見しょうぶロマンの森維持管理経費	51,404	指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設の管理運営を行った。 ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合 ・開館日数 313日 ・来客人数 246,292人	205
2. 農地・水・環境保全向上対策事業	9,832	農業の持続的発展、多面的機能の健全な発揮を図るため、農家・非農家で構成された組織による農地・農業用水等を保全向上させる共同活動に対し、国・県と共に支援を行った。	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 伊勢市都市農山村 交流促進施設維持 管理経費	1,926	横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。	205

(款) 6 . 農林水産業費 (項) 1 . 農業費 (目) 5 . 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,581 千円
決算額 3,580 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,580

農 林 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 松阪食肉公社施設 維持管理対策補助 金	3,412	食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、主要株主により支援を行った。	205

(款) 6 . 農林水産業費 (項) 1 . 農業費 (目) 6 . 農地費

(単位 千円)

予算現額 234,199 千円
決算額 232,885 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,307	145,100		85,478

農 林 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 土地改良事業補助 金	52,950	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付団体数・・・10団体	205
2. 管理体制整備強化 支援事業補助金	3,086	国営で造成した土地改良施設(頭首工、揚水機、用水路等)に対する国の助成制度で、多面的機能の発揮及び高度化に対応した適切な管理体制整備のため、宮川用水受益市町1市4町が負担することにより管理強化を図った。	205
3. 県営ため池整備事 業負担金	7,350	県営ため池等整備事業負担金 実施場所 一色町大切戸地区 事業内容 施設土工(旧体取壊)一式、仮設工一式 事業期間 平成14年度～平成20年度 事業費 88,200千円(工事費84,000 事務費4,200) 負担区分 工事費 国55% 県37% 市8% 事務費 国50% 県25% 市25% 伊勢市負担額 7,350,000円	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 県営かんがい排水 事業負担金	31,282	<p>県営かんがい排水事業負担金</p> <p>宮川2工区 事業内容 用水路 L = 657.5m、電柱補償一式 事業期間 平成17年度～平成21年度 事業費 257,250千円(工事費245,000 事務費12,250) 負担区分 国 50% 県 25% 市町村 15% 宮川用水10% 受益面積割 伊勢市11.7% 伊勢市負担額 4,514,679円</p> <p>宮川4工区 事業内容 用水路 L = 743.5m 事業期間 平成18年度～平成24年度 事業費 103,950千円(工事費99,000 事務費4,950) 負担区分 国 50% 県 25% 市 15% 宮川用水10% 伊勢市負担額 15,592,000円</p> <p>宮川4工区その2 事業内容 用水路 L = 160.5m、測量設計一式 事業期間 平成19年度～平成25年度 事業費 74,550千円(工事費71,000 事務費3,550) 負担区分 国50% 県25% 市15% 宮川用水10% 受益面積割 伊勢市99.938% 伊勢市負担額 11,175,067円</p>	207
5. 経営体育成基盤整 備事業負担金	3,557	<p>県営経営体育成基盤整備事業負担金</p> <p>実施場所 有田地区 事業内容 幹線用水路 L = 1,098.1m 支線用水路 L = 3,405.2m 農道 L = 1,131m 事業期間 平成17年度～平成22年度 事業費 325,500千円(工事費310,000 事務費15,500) 負担区分 ・幹線 工事費 国50% 県27.5% 市町12.5% 地元10% 受益面積割 伊勢市1.688% 事務費 国50% 県25% 市町15% 地元10% 受益面積割 伊勢市2.025% ・支線(宮川左岸第一土地改良区) 工事費 国50% 県27.5% 市町4.5% 地元18% 受益面積割 伊勢市0.054% 事務費 国50% 県25% 市町5% 地元18% 受益面積割 伊勢市0.06% ・支線(小俣町土地改良区) 工事費 国50% 県27.5% 市4.5% 地元18% 事務費 国50% 県25% 市5% 地元20% 伊勢市負担額 3,556,953円</p>	207
6. 県営ふるさと農道 整備事業負担金	113,600	<p>県営ふるさと農道整備事業負担金</p> <p>二見町松下地区 事業内容 道路工 L = 370m、用地買収・補償一式 事業期間 平成10年度～平成24年度 事業費 282,800千円(工事費280,000 事務費2,800) 負担区分 工事費 県 65% 市町村 35% 事務費 県 50% 市町村 50% 伊勢市負担額 99,400,000円</p> <p>御園地区 事業内容 用地測量・設計一式、用地買収・補償一式 歩道工 L = 184m 事業期間 平成5年度～平成21年度 事業費 40,400千円(工事費40,000 事務費400) 負担区分 工事費 県 65% 市町村 35% 事務費 県 50% 市町村 50% 伊勢市負担額 14,200,000円</p>	207

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 農道整備事業	6,517	道路幅員等において国・県の補助事業として採択基準に合致しない農道整備について、舗装工事を施行し、農道の機能を保持するとともに、交通安全の確保に努めた。 村松町地内ほか 農道舗装(その1)工事ほか2件	207
8. 農業用排水路整備事業	8,091	国・県の補助事業として採択基準に合致しない老朽化による水路の損傷及び生活排水の流入により排水能力が低くなった排水路の整備を行うことにより、排水機能回復と環境整備を図った。 柏町地内 農業用排水路(その1)工事ほか1件	207
9. むらづくり交付金事業	1,517	土地の農業上の利用と他の利用との調整に留意しつつ、地域住民等をはじめとする多様な主体の参加の下、地域の将来像及び農村振興施策の基本方針等を内容とする個性ある地域づくりを実現するための農村振興基本計画を作成した。	207

(款)6. 農林水産業費 (項)1. 農業費 (目)7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 101,017 千円
決算額 98,009 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	97		47,624	50,288

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	64,156	<p>排水機場の定期的なポンプ、エンジンのオーバーホール、除塵機等設備の整備補修等を実施することにより、施設の機能保持と耐用年数の確保を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とし、土地改良施設維持管理適正化事業に加入することで、事業費の90% (国:30%、県:30%、市:30%)の交付金を受けられるものである。</p> <p>また交付金90%のうち、市負担の30%と、2.5%の事務費を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。</p> <p>(概要)</p> <p>【維持課】 26,909,780円 施行施設 村松町 村松排水機場 村松町 亀池排水機場 有滝町 社護神排水機場</p> <p>【産業建設課(二見)】 27,076,425円 施行施設 二見町 莊排水機場</p> <p>【産業建設課(小俣)】 10,170,000円 施行施設 小俣町元町 汁谷川排水機場</p> <p>負担区分 国 30% 県 30% 市 40% (うち30%は拠出金)</p>	207

(款) 6 . 農林水産業費 (項) 1 . 農業費 (目) 8 . 土地改良受託整備事業費

(単位 千円)

予算現額 9,000 千円
 決算額 8,298 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			8,298	

農 林 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 農業用施設整備事業	8,298	土地改良区が実施する排水路工事等の土地改良事業を市が受託施行し、農業生産基盤の整備を図った。 施行場所 円座町地内、小俣町地内	207

(款) 6 . 農林水産業費 (項) 1 . 農業費

(目) 9 . 農村総合整備統合補助事業費

(単位 千円)

予算現額 27,103 千円
 決算額 26,931 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,250		10,681	0

農 林 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 農村総合整備統合補助事業	26,931	農家数及び農地の減少、生産意欲の減退等の諸問題に対応するため、農業生産基盤整備、農村環境基盤整備、農村交流基盤整備等を行い、優良農地の適正な管理、営農環境の保全及び生活環境の改善に努め、地域の活性化を図った。 事業内容 ○平成18年度からの繰越分 ・農業集落道整備 L = 468.1m ・集落水辺環境施設 1箇所 負担区分 国50% 県15% 市35% 全体事業 事業費 1,796,000千円 事業概要 ・農業用排水施設整備 L = 4,771.3m ・農道整備 L = 2,693.2m ・農業集落道整備 L = 7,549.2m ・農業集落排水施設整備 L = 6,809.4m ・集落防災安全施設整備 12箇所 ・集落水辺環境施設 3箇所 ・集落緑化整備 2箇所 ・用地整備 1箇所 ・遊歩道整備 1箇所 ・景観保全 1箇所 事業期間 平成12年度～平成19年度	207

(款) 6 . 農林水産業費 (項) 2 . 林業費 (目) 2 . 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 58,179 千円
 決算額 38,458 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,003	18,380	13	17,062

農 林 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1 . 環境保全林整備事業	982	市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林において、適正な間伐による、保全林機能の向上を図った。 間伐 2.5ha	209
2 . 音無山擁壁補強事業	13,380	音無山北斜面の遊歩道及び法面の擁壁に亀裂が生じており、このまま放置すると法面が崩落する恐れがある。法面の直下には国道42号が通っており多大な危害が及ぶとともに、音無山利用上支障をきたすことから、これらを未然に防ぐため擁壁補強事業の実施に着手した。 平成19年度分 測量、地質調査、設計、工費積算 平成20年度への繰越分 擁壁補強(ロックボルト工) N = 51箇所、法面緑化工	209
3 . 森林病虫害防除事業	3,177	海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布 村松町ほか 19.3ha 樹幹注入 村松町ほか 150本 伐倒・くん蒸 村松町ほか 23.1m ³	209
4 . 獣害防止事業	291	近年、拡大している有害動物による農作物及び人的被害の軽減を図るため、その捕獲対策を猟友会に委託し実施した。	209
5 . 森林環境創造事業	812	音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.35ha実施した。 事業内容 下刈り 2.41ha 歩道草刈り 1.83ha 除伐 0.11ha 負担区分 県80% 市20%	209
6 . 海辺の公有林化支援事業	6,740	今一色地区から荘地区までの海岸線の保安林機能の回復及び整備のため、用地を買収した。 事業内容 用地購入 6筆 A = 1,346m ²	209
7 . 海辺の公有林管理経費	8,640	保安林及び林内歩道を適正に保全・管理するため、下刈り及び松くい虫被害木の伐倒駆除を実施し、予防と機能維持を図った。 ・枯松伐倒駆除 356.6m ³ ほか	209

(款) 6 . 農林水産業費 (項) 3 . 水産業費 (目) 2 . 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 30,837 千円
 決算額 29,734 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,425			16,309

水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . アサリ稚貝育成調査事業	2,990	ノリ網敷設による効率的な種苗放流や漁場管理手法について検討するため、支柱柵によるノリ網敷設箇所にあさり種苗(20mm程度)を放流して、生息、育成状況を調査した。調査は平成20年度継続実施	211
2 . アサリ養殖振興事業補助金	5,103	主力水産物であるアサリ資源の減少により、生産高がここ数年激減しているため、伊勢市各地先に種苗を放流して資源の増大、漁家経営の安定を図った。	211
3 . 種苗(クルマエビ等)育成事業補助金	200	伊勢湾に小型底曳網漁業等で漁獲されるクルマエビ・トラフグ・クロダイ種苗を放流して、資源の増大と生産の安定を図った。	211
4 . 稚鮎等放流事業補助金	600	宮川本支流にアユ・ウナギ・アマゴ種苗を放流して、資源の増大と生産の向上を図った。	211
5 . 水産教室実施事業	104	市立今一色小学校5,6年生(30名)に伊勢市の漁業に関する講習、施設見学、漁業体験を実施し、将来つくべき職業のひとつとして考えてもらうよう、漁業への興味高揚を図った。	211
6 . 合併漁協自立基盤確立事業費補助金	20,265	船揚施設設置(16,470千円) 豊北漁港内に在籍する概ね5トン以上の漁船を対象とした船揚げ施設を設置し、漁船保全の適正化、操業の安全・効率化を図った。 監視船建造(3,667千円) 毎年、伊勢市沿岸の干潟域で水産物の密漁事件が発生しているため、喫水線の浅い高速船を購入して密漁監視に努め、被害の抑制を図った。 給水施設(井戸)設置(128千円) 既存施設の老朽化により活魚の蓄用に支障をきたしていたため、新たに給水施設を設置し、活魚の保全を図った。	211
7 . 二見地区潜堤標識灯設置事業補助金	472	二見町地先の潜堤に設置してある標識灯を更新して機能回復させ、海上交通の安全を図った。	211

(款) 6 . 農林水産業費 (項) 3 . 水産業費 (目) 4 . 漁港建設費

(単位 千円)

予算現額 316,563 千円
 決算額 293,614 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
83,460	133,768	68,500	1,928	5,958

水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 村松漁港整備事業	35,004	○村松漁港物揚場整備工事 老朽化した、物揚場 (L=84.2m) の改修工事を行い浮棧橋を設置した。	211
2 . 豊北漁港整備事業	41,716	○豊北漁港浚渫工事 航路に土砂が堆積し、漁船の航行に支障をきたしているため、土砂を浚渫し (A=4,470m ²) 漁船の安全航行を図った。	211
3 . 豊北漁港海岸整備事業	149,886	○豊北漁港海岸整備工事 老朽化した堤防を整備し、波浪時の高潮等から背後地を防護するため、海岸整備工事 (L=290m) を進めた。 (一部平成18年度繰越工事)	213
4 . 豊北漁港津波危機管理対策緊急事業	67,008	○豊北漁港海岸陸こう整備工事 角落し式となっている陸こう門をアルミ製の扉式に改良し、高潮や津波の防護に短時間で対応できるように、整備工事 (8基) を進めた。(一部平成18年度繰越工事)	213

(款) 7 . 商工費 (項) 1 . 商工費 (目) 1 . 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 117,495 千円
 決算額 117,376 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				117,376

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 伊勢志摩総合地方 卸売市場貸付金	18,000	多額の累積赤字を抱えている市場に対し、資金を貸し付けることにより経営の安定を図り、消費者への生鮮食料品の安定供給と地元生産者の安定的な販路の確立を図った。	213

(款) 7 . 商工費 (項) 1 . 商工費 (目) 2 . 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 357,881 千円
 決算額 342,243 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	100,000	165,600	2,193	74,450

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 商工制度資金利子 補給事業補助金	332	平成18年末までに小俣町商工会の斡旋により小規模事業資金の融資を受けた者に対し、その返済状況に応じた利子の補給補助を行い、小俣町商工会管内の商工業者の設備資金及び運転資金の円滑化を図った。 補助件数 27件	215
2 . 小規模事業資金融 資保証料補給補助 金	6,142	伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行い、商工業者の設備資金及び運転資金の円滑化を図った。 補助件数 194件	215
3 . 経営改善普及事業 補助金	7,200	小俣町商工会が商工業者の経営技術の改善普及を図るため実施する、経営改善普及事業に要する経費に対し補助金を交付することにより、商工業の発展を図った。	215
4 . 中小企業相談所事 業補助金	9,500	伊勢商工会議所内に設置された中小企業相談所が実施する中小企業への経営改善指導事業等に対し補助金を交付することで中小企業の振興を図った。	215

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. TMO構想推進協働事業	2,030	<p>中心市街地を活性化させるためには、賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場としての再生が求められ、地域住民や商店街等の相互の理解と協力が重要であることから、平成17年1月から市としてまちづくりに取り組むランチとしての活動拠点及び「いせTMO」の活動拠点を中心市街地に移設し、地域住民、商業者、行政、商工会議所等との連携を強化させ、協働のまちづくりを進めている。その中の取り組みの一つに厚生地区まちづくりの会への活動支援などを行い、中心市街地の活性化に取り組んでいる。</p> <p>また、中心市街地PR事業として、中心市街地で開催される各種イベント等を集合チラシ（新聞折込）にて情報発信した。</p> <p>事業着手年度 平成16年度～</p>	215
6. TMO構想推進事業補助金	5,634	<p>商店街の集客力及び機能回復を促進し、中心市街地の活性化の一助とするため、いせTMO（事務局：商工会議所）に補助金を交付した。</p> <p>(1)空店舗等対策事業</p> <p>活用モデル事業 2件</p> <p>テナント確保支援事業 新規 2件</p> <p>チャレンジショップ事業 新規 4件</p> <p>空地活用モデル事業 1件</p> <p>(2)各種調査事業</p> <p>空店舗調査、商店街通行量調査</p> <p>(3)商業まちづくり補助金事業 4団体</p>	215

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 産業調査研究推進経費	9,366	<p>中小製造業者等が行う新製品、新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」を交付した。</p> <p>また、(株)百五経済研究所へ起業支援員の設置を委託し、産業支援センターでの起業支援の準備を行った。</p>	215
2. 産業支援センター建設事業	301,800	<p>起業支援、ものづくり支援、産業集積を図り、地域経済の活性化を図る拠点となる産業支援センターを朝熊町地内に建設した。</p>	215

(款)7. 商工費 (項)1. 商工費 (目)3. 工芸指導所費

(単位 千円)

予算現額 19,885 千円
 決算額 18,990 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			294	18,696

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ものづくり支援推進経費	510	<p>県営サンアリーナで「地場産業展」を開催し、市民に対して地場産業品の情報発信を行うとともに、企業間交流の促進を図った。</p>	215
2. 伊勢春慶振興推進経費	2,000	<p>伊勢春慶の生産及び観光資源として見学や体験ができる拠点として、伊勢春慶の会が、河崎地区で「伊勢春慶デザイン工房」を整備することに対して補助金を交付した。</p>	215

(款) 8 . 観光費 (項) 1 . 観光費 (目) 1 . 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 166,922 千円
 決算額 165,619 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			11,445	154,174

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 伊勢活性化プロジェクト事業	7,676	「市民力の結集」を活用した新しい観光振興を図るため、市民団体等と行政が一体となり、本市の観光に関する現状と課題を話し合い、各組織が互いに役割を認識しながら連携できる体制づくりを図った。 ・事業調査業務委託料 7,676千円	217

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 初参り旅客接遇事業負担金	500	平成18年度から、地元15団体による伊勢おもてなし会を設立し外宮参道、伊勢市駅前広場を中心にかがり火、神宮参道ライトアップ、ふるまい等で初詣客におもてなしをした。 また、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇を宇治浦田駐車場で実施し、大晦日には内宮、外宮で年越餅各5,000個の贈呈を行った。	217
2 . 案内所運営委託事業	8,848	外宮前・近鉄宇治山田駅構内・二見浦観光案内所で、観光客の案内を行った。((社)伊勢市観光協会に委託) ・外宮前案内所 51,967件 (うち外国人 1,299件) ・宇治山田駅構内案内所 28,810件 (うち外国人 561件) ・二見浦観光案内所 2,290件 (うち外国人 18件)	217
3 . 観光協会負担金	5,900	(社)伊勢市観光協会の財政基盤の確立と観光協会自体が弾力性をもって観光の推進に努めた。	217

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 賓日館管理運営事業	11,030	資料館である賓日館の運営及び維持管理を、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることにより、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図っている。施設見学はもとより、各種自主催事を実施し、より多くの集客に繋げている。 委託料 5,700千円(指定管理料) 入館者数 H19年度 28,710人	217

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 海水浴場管理運営事業	2,408	<p>二見浦海水浴場の施設維持管理及び開設に伴う管理委託等を行った。</p> <p>○委託料 1,321千円(管理運営委託) (社)伊勢市観光協会へ委託) 724千円(防護フェンス設置等)</p> <p>需用費 340千円(消耗品購入及び修繕)</p> <p>役務費 23千円(電話料金)</p> <p>開設期間 平成19年7月7日～8月31日</p> <p>○来場者数 H19年度 約22,300名</p>	217

(款)8.観光費 (項)1.観光費 (目)2.旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 88,181 千円
決算額 85,787 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10,100	75,687

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光情報発信事業	9,950	<p>多用な観光客のニーズに対応できるように、観光協会ホームページの内容を充実させ、パンフレットも作成した。また遠隔地へ出向き、地元のメディアを利用し新たな観光客の開拓に取り組んだ。</p> <p>・(社)伊勢市伊勢観光協会への負担金 3,442千円 (ホームページ維持費・パンフレット増刷費)</p>	219
2. 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業	3,000	<p>三重県との協働事業として、伊勢の観光資源を活用した観光商品を開発し、伊勢への誘客を図った。</p> <p>・三重県観光販売システムズへの委託料 3,000千円</p>	219
3. 伊勢志摩広域観光活性化事業	18,571	<p>伊勢志摩地域の官民が一体となって、伊勢志摩の魅力を広域のかつ一体的にPRした。</p> <p>・(社)伊勢志摩観光コンベンション機構負担金 5,000千円</p> <p>・伊勢志摩キャンペーン負担金 7,000千円</p>	219

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 明かり行事事業	1,800	<p>7月28日～8月1日に開催された第10回外宮さんゆかたで千人お参りにおいて、外宮にぎわい会議を中心に神路通りに、竹と和紙で作成した灯籠約800個、外宮参道に約1,000個を並べ、明かりをテーマとした行事を開催した。</p> <p>また、10月の26日～28日の3日間、おはらい町界限で「伊勢ヨイ夜(ヤ)ナ」を開催した。</p>	219
2. 春の行事負担金	2,000	<p>日本さくらの名所百選の宮川堤において(社)伊勢市観光協会との共催、宮川保勝会の協力により、夜桜のライトアップとぼんぼりで花見客を出迎えた。 (4月1日～10日)</p> <p>5月17日～18日に日本観光交流・伊勢会議及び観光祈願祭を開催した。</p>	219

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 楽市行事開催負担金	600	伊勢楽市 伊勢志摩地域の地場産品の展示販売を行い、伊勢市駅、外宮周辺の賑わいをつくった。 (4月14日・15日、11月10日・11日) また、津市高虎楽座に伊勢楽市ブースを出店し、楽市の周知と伊勢の観光PRを行った。(11月3日)	219
4. 花火大会開催負担金	10,000	第62回式年遷宮・お木曳行事記念として開催され、第55回記念スターメインが放揚された。 また、今年度から審査員体制を全面的に見直し、競技花火大会としての質の向上を図ったほか、2人用有料観覧席を導入し誘客を図った。 観客数20万人	219
5. 伊勢のまつり開催事業	9,000	おまつり広場を中心に、伊勢音頭パレードや夜の飾り車などが開催された。また、神宮神嘗祭に併せ、初穂曳(陸曳・川曳)を実施し、徳島県、山形県、沖縄県など日本の三大民踊、三大パレード、三大盆踊りが来勢を得て盛り上げた。 ・実施日 平成19年10月13日(土)~17日(水) ・観客動員数 約292,500人 ・参加団体 205団体 ・参加人数 13,730人	219

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつり開催事業	6,000	地域づくり、協働によるまちづくりを目的として、市民で構成する実行委員会が主催し、「第11回おばたまつり」を開催した。 実施日 : 平成19年8月18日(土) 午後1時から午後9時30分 実施場所 : 宮川親水公園 観客動員数 : 約12,000人 参加団体 : 7団体 参加者数 : 398人	219

御園総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつり開催事業	5,000	河川愛護の啓発と地域住民のふれあい、協働によるまちづくりを目的として、市民で構成する運営委員会が主催し、「御園ラブリバーふれあい祭り」を開催した。 実施日 : 平成19年10月20日(土) 午前11時45分~午後6時30分 実施場所 : 宮川ラブリバー公園 観客動員数 : 約12,000人 参加団体 : 15団体 参加人数 : 400人	219

(款) 8 . 観光費 (項) 1 . 観光費 (目) 3 . 伝統文化推進費

(単位 千円)

予算現額 44,400 千円
 決算額 44,400 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				44,400

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 民俗伝統行事推進 事業負担金	38,000	平成25年の第62回神宮式年遷宮の斎行に向け、第二年次の伊勢市の無形民俗文化財「お木曳行事」実施に向け安全対策、もてなし等を実施した。	219
2 . 伝統芸能継承事業 負担金	1,400	「里帰り伊勢音頭全国大会」、「初穂曳」への開催負担金。 伊勢市の伝統芸能である伊勢音頭の普及育成とお木曳・お白石持行事の技術と文化を継承するために実施している。	219
3 . 伊勢のまつりブラン ド化推進事業	5,000	10月14日に県営サンアリーナにおいて神嘗晦日祭が行われ、神嘗エンヤ市や阿波踊りや花笠踊り、沖縄エイサー、岸和田だんじり、越中おわら風の盆、じゃこっぺ踊りなど日本の三大民踊、三大パレードと言われる団体が来勢し、約12,000人の集客に繋がった。 15日には市駅前から外宮にかけて、初穂曳に加え全国の踊りなどが披露された。	219

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 1 . 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 237,489 千円
 決算額 235,610 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	30,022			205,588

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 道路台帳整備経費	34,393	道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 また、道路台帳図の整合性を図る為、平成18年度から引き続き道路台帳図のデジタル化を行った。 (概要) ・道路台帳デジタル化 一式 ・道路台帳修正 新規認定 10.1 km 廃止 0.3 km 改良 12.79 km マンホール 62箇所	221

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 2 . 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 137,470 千円
 決算額 132,813 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	43			132,770

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 道路舗装事業	14,936	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。 また、危険箇所、老朽箇所を補修し、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。 (概要) 【維持課】 6,463,800円 ・舗装工事 1件 L = 520.0 m A = 3,753.0 m ² 【産業建設課(二見)】 2,984,796円 ・舗装補修工事 8件 A = 627.6 m ² 【産業建設課(小俣)】 289,800円 ・舗装補修工事 1件 L = 54.5 m A = 168.0 m ² 【産業建設課(御園)】 5,197,599円 ・舗装補修工事 6件 L = 492.7 m A = 1,354.0 m ²	223

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 3 . 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 652,023 千円
 決算額 610,346 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,300		238,000	94,139	276,907

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 県営事業地元負担金	6,451	三重県が施行した道路改良事業に対し、負担を行った。 (鳥羽松阪線、館町通線、横輪南勢線)	223

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 道路改良事業	163,051	<p>市民生活に密接した道路の拡幅等を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を進めた。 (概要)</p> <p>現年分 道路改良工事 3路線 L = 316.8 m² 特殊地下壕閉塞工事 1件 5箇所 測量、設計 3件 L = 1,560 m 用地測量 1件 一式 用地買収 40筆 A = 866.83 m² 樹木伐採 1件 A = 1,900 m² 支障物件補償 1件 工作物、建物等補償 6名 工作物、立木等</p> <p>平成18年度からの繰越 道路改良工事 2路線 L = 181 m 道路舗装工事 1路線 A = 1,712 m² 測量、設計 1件 L = 120 m</p> <p>平成20年度への繰越 道路舗装工事 1路線 A = 562 m² 工作物等補償 3名 工作物、立木等</p>	223

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	440,844	<p>市民生活に密接した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。 また、危険箇所等の補修を行い、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>【維持課】 332,102,600円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計等 16件 ・一般改良 23件 L = 7,086.0m <p>【産業建設課(二見)】 56,416,206円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計 7件 ・一般改良 10件 L = 1,172.0m ・その他改良 11件 <p>【産業建設課(小俣)】 3,543,250円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量 1件 ・一般改良 2件 L = 63.5m <p>【産業建設課(御園)】 48,781,950円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計 4件 ・一般改良 5件 L = 1,041.5m 	223

(款)9.土木費 (項)2.道路橋梁費 (目)4.橋梁維持費

(単位 千円)

予算現額 13,497 千円
決算額 13,160 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			12,167	993

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 橋梁耐震対策事業	12,167	<p>震災時におけるライフラインとなる重要な既設橋梁について、耐震対策工事を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>【産業建設課(二見)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日の出橋 1橋 (平成18年度から一部繰越) 	225

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 5 . 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 36,847 千円
 決算額 36,793 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				36,793

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 交通安全施設整備 事業	14,083	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 【維持課】 8,878,349円 ・道路反射鏡 52基 ・道路照明設備 3基 ・区画線工 50.0m ・ガードレール 3.8m ・外側線 180.0m ・カラー舗装 244.0m ² 【産業建設課(二見)】 1,514,100円 ・道路反射鏡 10基 ・ポールコーン 4基 ・区画線工 221.0m 【産業建設課(小俣)】 2,927,400円 ・道路反射鏡 7基 ・カラー舗装 45.0m ² ・区画線工 673.5m 【産業建設課(御園)】 763,350円 ・道路反射鏡 5基 ・カラー舗装 24.3m ² ・区画線工 191.5m	225

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 6 . 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 392,941 千円
 決算額 349,612 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
181,915		58,300	47,552	61,845

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 大湊川線整備事業	187,373	<p>大湊町民の災害時の避難路は、現在、県道大湊宮町停車場線にかかる湊橋だけとなっており、住宅団地等の開発が進む中で新しい道路の建設が急務となっている。</p> <p>また、医療・福祉施設などの高齢者の増加に対応した施設、日常生活の利便性を賄う商業施設が不足しており、地区外への依存が日常から求められている。</p> <p>そのため、大湊地区の防災機能の向上及び住民の生活機能の拡充を図り、バイパス整備を進めた。第1工区については、平成14年度に完了し、引き続き第2工区を平成15年度から平成20年度完了を目指し、進めているものである。</p> <p>(概要)</p> <p>地方道路整備臨時交付金事業 現年分 下部工工事施工委託 橋梁上部工事に伴う材料価格調査業務委託 平成18年度からの繰越 橋脚工事、堤脚水路浚渫工事 防火水槽等設置工事 地方特定道路整備事業 現年分 橋取付道路工事施工委託 (全体事業)(交付金・起債事業費) 地方道路整備臨時交付金事業 [第一工区] 事業費 248,000千円 事業概要 道路改良 L = 220m 事業期間 平成11年度～平成14年度 [第二工区] 事業費 598,000千円 事業概要 道路改良 L = 170m 事業期間 平成15年度～平成20年度 地方特定道路整備事業 事業費 132,000千円 事業概要 道路改良 L = 570m 事業期間 平成11年度～平成20年度</p>	225

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2 . 小俣20号線整備 事業(交付金)	81,371	<p>本路線は小俣市街地と明野小学校、総合体育館、大仏山公園等がある明野地区を結ぶ重要な路線であり、また通学路にもなっているが、歩道・車道共に幅員が狭く危険な状態となっている。そのため、拡幅整備を行うことにより、安全な通学路として、また車両の安全な通行機能の向上を図るものである。</p> <p>(概要)</p> <p>地方道路整備臨時交付金事業</p> <p>現年分</p> <p>道路改良工事 L = 470 m</p> <p>道路舗装工事 A = 3,189 m²</p> <p>用水管設置工事 管水路工 98 m</p> <p>支障物件移転補償 1件</p> <p>(平成20年度へ一部繰越)</p> <p>平成18年度からの繰越</p> <p>用水管試掘調査業務委託 3箇所</p> <p>道路改良工事 L = 353.1 m</p> <p>道路舗装工事 A = 1,419 m²</p> <p>(全体事業)(交付金事業費)</p> <p>事業費 443,000千円</p> <p>事業概要 道路改良 L = 1,165 m</p> <p>事業期間 平成16年度～平成21年度</p>	227
3 . 柏東大淀線整備事 業(防衛)	56,394	<p>本路線は東大淀町から国道23号へ通じる生活道路であり、また、隣接する柏町から災害時非難場所である東大淀小学校へ通じる最短ルートでもあるが、道路幅員が狭く道路機能が著しく低い状態である。また、本路線上空を陸上自衛隊明野駐屯地の航空機が低空で進入離脱を繰り返しており、航空事故等緊急時の救助活動、避難活動に支障をきたす恐れがある。そのため、平成18年度から防衛省補助事業として整備を行っているものである。</p> <p>(概要)</p> <p>防衛施設周辺民生安定施設整備事業(補助)</p> <p>道路改良工事 L = 208 m</p> <p>橋梁設計業務 L = 20.8 m</p> <p>建物調査 1件</p> <p>用地買収 9筆 A = 1,163.45 m²</p> <p>(全体事業)(補助事業費)</p> <p>事業費 234,579千円</p> <p>事業概要 道路改良 L = 703 m</p> <p>事業期間 平成18年度～平成23年度</p>	227

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 磯小俣3号線外整備事業(防衛)	13,384	<p>本路線は小俣町元町地区と磯町字コウ田地区を連絡する道路であり、地域住民の主要生活道路であるが、交通量の増大と道路整備の遅れにより道路機能が著しく低下している状態にある。また、本路線の上空を陸上自衛隊明野駐屯地からの航空機が低空で進入離陸を繰り返しており、航空事故等緊急時の救助活動、非難活動に支障をきたす恐れがある。そのため、平成14年度から防衛省補助事業として整備を行っているものである。</p> <p>(概要)</p> <p>防衛施設周辺民生安定施設整備事業(補助) 平成18年度からの繰越 道路改良工事 L = 41m 境界確定に伴う掘削及び擁壁復旧工事 L = 10m 水道給水設備工事 一式 用地境界杭設置業務委託 50本 用地買収 2筆 A = 152.49㎡ 建物等補償 2名</p> <p>(全体事業)(補助事業費) 事業費 106,765千円 事業概要 道路改良 L = 370m 事業期間 平成14年度～平成20年度</p>	227
5. 本町周辺道路整備事業(交付金)	10,608	<p>本道路とJR参宮線とが交差する掛橋踏切は、小俣町本町地区と小俣小学校、小俣中学校を結ぶ通学路となっているが幅員が狭く近年の交通量の増加に伴い、朝夕の通勤・通学・帰宅の混雑時には、児童が車両の間をすり抜けるなど大変危険な状態となっている。</p> <p>そのため、歩道の確保、車両の対面通行が可能となり、歩行者、車両の安全が図れるよう、踏切の拡幅及び取付部の整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>地方道路整備臨時交付金事業 平成18年度から繰越 用地買収 6筆 A = 278.05㎡</p> <p>(全体事業)(交付金事業費) 事業費 121,502千円 事業概要 道路改良 L = 94.2m 事業期間 平成17年度～平成18年度 (平成19年度へ一部繰越)</p>	227

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 2 . 勢田川対策費

(単位 千円)

予算現額 16,812 千円
 決算額 16,069 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,723				5,346

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 勢田川清掃事業	622	「勢田川を天の川に」のキャッチフレーズで、地元沿岸23自治会と協力し、市民・学校・企業・行政等に呼びかけ勢田川、朝川及び桧尻川のボランティア清掃を実施した。 平成19年度実績 実施日 : 平成19年7月1日(日) 参加者 : 約2,800人 主な拾集物 : 空き缶 1,685個 空きビン 354個 自転車 3台等 その他 : 平成8年度から実施	229

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 勢田川浄化経費	13,788	平成5年10月から、宮川7.4km地点(辻久留2丁目宮川堤ゲートボール場地先)で取水し、勢田川5.1km地点(小田橋下流)に、1.0 ^ト ン/秒以下の導水を行っている。 (平成19年度の稼働日数243日)	229

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 4 . 河川改修事業費

(単位 千円)

予算現額 267,930 千円
 決算額 208,760 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
89,306		48,000	53,481	17,973

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 準用河川桧尻川改修事業	109,828	<p>河積不足で流下能力が極めて低く、周辺では毎年のように浸水被害を受けており、治水対策が急がれている状況であるため、河川改修を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>総合流域防災事業(補助) 現年分 護岸工事、橋梁工事、支障物件移転補償 (平成20年度へ一部繰越) 平成18年度からの繰越 護岸工事、橋梁撤去工事、支障物件移転補償、 営業補償、建物補償ほか</p> <p>(全体事業)(補助事業費) 事業費 2,364,000千円 事業概要 桧尻川 改修延長 L = 380.0 m 幅員 W = 10.45 m 流量 Q = 37 m³/秒 桧尻川支川 改修延長 L = 243.5 m 幅員 W = 7.85 m 流量 Q = 19 m³/秒 事業期間 平成10年度～平成30年度</p>	229
2 . 準用河川大堀川支川改修事業(防衛)	98,932	<p>土地形状の変化や排水流出量の増加に伴う河川の断面不足により、豪雨時の浸水被害が近年多発している。浸水被害の防止が急務となっているため、河川改修を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>防衛施設周辺障害防止事業(補助) 平成19・20年度継続費 築堤護岸工事 (平成20年度へ一部繰越) 平成18年度からの繰越 用地買収、建物補償ほか</p> <p>(全体事業)(補助事業費) 事業費 740,000千円 事業概要 改修延長 L = 760.0 m 幅員 W = 14.5 m 流量 Q = 52 m³/秒 事業期間 平成16年度～平成23年度</p>	229

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 6 . 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 183,144 千円
 決算額 170,972 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		46,200	98,340	26,432

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 排水施設整備事業	170,972	豪雨時の急激な増水による浸水を防止するとともに、生活環境の向上を図るため、排水路の整備、排水機場の整備等を進めた。 (概要) 現年分 排水路改良整備 6排水路 L = 577.41m 排水機場建築整備 1機場 ポンプ場整備 1ポンプ場 その他小規模工事 4件 (平成20年度へ繰越) 平成18年度からの繰越 排水路改良整備 3排水路 L = 332.60m その他小規模工事 5件	233

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 7 . 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 16,629 千円
 決算額 16,038 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		15,200	838	

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 河川改良事業	16,038	護岸の侵食が著しい河川の改良を行い、機能の改善を進めた。 (概要) 平成18年度からの繰越 一般改良工事 1河川 L = 53.8m	233

(款) 9 . 土木費 (項) 4 . 港湾海岸費 (目) 1 . 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 18,087 千円
 決算額 17,538 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,381	4,086	9,600		2,471

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 県営事業地元負担金	11,018	三重県が施行した海岸環境整備事業、港湾改修事業に対し、負担を行った。 海岸維持：宇治山田港(大湊・二見)、北浜地区、松下地区、神前地区 港湾改修：宇治山田港(神社地区、大湊地区)	233

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 1 . 都市計画総務費

(単位 千円)

予算現額 1,779,609 千円
 決算額 1,775,869 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	641		1	1,775,227

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 都市計画基本方針策定経費	1,260	伊勢市の基本的な都市づくりの方針、長期的な視点から都市の将来像を示し、市の都市空間づくりの総合的な指針として都市マスタープラン全体構想(案)を検討した。 (概要) 伊勢市都市マスタープラン全体構想作成業務	235

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 2 . まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 2,066,207 千円
 決算額 1,907,137 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
614,869		1,099,600	119,308	73,360

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 伊勢湾海上アクセス推進事業	591,815	交通システムの見直し整備の一環として、伊勢湾海上アクセスの充実を図ることにより、三重県南部地域と中部国際空港を結ぶ海の玄関口としての機能を果たすと共に、伊勢志摩地域を訪れる来訪者の利便性及び周遊性を高め、経済効果と地域活性化を図るための調査・測量・工事等を行った。	237

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 宇治山田港交流拠点及び勢田川歴史観光交流軸整備事業	1,888	伊勢市神社海の駅について、指定管理者制度による管理運営を行った。 指定期間：平成18年8月1日～平成21年3月31日 委託金額：4,740,000円 19年度委託金額：1,886,000円	237

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 伊勢市駅周辺整備事業	26,192	伊勢市駅周辺の施設活用の調査と、「まちづくり交付金」を活用し、まちづくり活動推進事業として地域のまちづくり活動の支援や花と緑のまちづくり事業の推進を行った。 (概要) 伊勢市駅周辺調査 まちづくり活動支援 花と緑のまちづくり	235

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 街なみ環境整備事業	55,370	二見浦旅館街の住環境整備及びまちなみ保全を図るため、「街なみ環境整備事業」を活用し、道路美装化、公園整備工事を進めた。 また、街なみ環境整備事業の一環として、二見町景観形成地区内で家屋の新築、増改築を行う建築物並びに工作物に対し、補助基準を満たす申請物件に対し工事費の2/3（上限1,000千円）の補助を行った。	235
3. 小俣町本町地区周辺整備事業	1,000	小俣町の市街地活性化を図るため、平成18年度より「まちづくり交付金」を活用し、地域のまちづくり活動の支援を進めた。 （概要） 本町再発見活動事業	235
4. 観光交流空間づくり推進事業	2,200	観光振興を核として交流人口を拡大する地域づくりを推進するため、地域の特性を活かした自律的な観光交流空間づくりを進めた。 事業着手年度 平成15年度 （概要） 第30回全国町並みゼミ伊勢大会負担金 伊勢二見地域観光交流推進協議会負担金	235
5. 風景まちづくり推進事業	5,999	平成17年6月に全面施行した景観法に基づき、景観計画（案）の検討及び、運用に向けた三重大学との共同研究を行った。 （概要） 伊勢市景観計画作成業務 伊勢市景観アンケート調査 共同研究（三重大学）	235

基盤整備課

（単位 千円）

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市駅周辺整備事業	910,304	「全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図る」ことを目的に平成16年度に創設された『まちづくり交付金』制度を活用し、『伊勢市中心市街地商業等活性化基本計画』に基づき、伊勢市駅周辺地域の道路、公園の整備を段階的に行い中心市街地の活性化、再生を図る。 （概要） 測量業務、設計業務等 公園整備工事、道路改良工事 （全体事業） 道路 7路線 公園 9公園 施行年度 平成18年度～平成22年度 総事業費 4,343,000千円	235
2. 小俣町本町地区周辺整備事業	312,368	市街地の活性化と鉄道の利用促進を図るため、平成18年度より「まちづくり交付金」を活用し、宮川駅周辺の道路環境の整備と駅への円滑なアプローチの確保を進めた。 （概要） 下卯起宮川駅野依橋線 （全体事業） 道路 2路線 橋梁点検 7箇所ほか 施行年度 平成18年度～平成22年度 総事業費 1,045,000千円	235

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 3 . 都市施設管理費

(単位 千円)

予算現額 105,243 千円
 決算額 102,348 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	225		1,339	100,784

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 花のまちづくり推進事業	1,502	平成2年当時まつり博等市の一大イベントを控え、公共用地にパンジーなどを植え、観光客・市民にとって美しい花のまちづくりを推進した。イベント終了後も一過性の事業とはせず毎年推進している。平成19年度においては、花壇への植付けを行い、また既存花壇の整備を進めることにより市民による花の植付けを促すなど、花のまちづくりへの参加をさらに推進した。 (概要) 花壇への植付け 滝倉川線、楓橋、桜橋、倭町、 秋葉山、宮川駅前、船江山川等 各花壇	237
2 . 遊具等設置事業	1,482	公園遊具等の設置及び更新を必要に応じて行っている。平成19年度においては、2公園にて遊具を設置、1公園にて遊具を移設、1公園にて手摺を設置、1公園にて投光機を設置し、公園機能の充実及び安全性の向上を図った。 遊具設置 2公園 遊具移設 1公園 手摺設置 1公園 投光機設置 1公園	239

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 4 . 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 20,308 千円
 決算額 18,919 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		12,600	3,252	3,067

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 県営事業地元負担金	15,667	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。 (秋葉山高向線、新国道)	239

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 街路施設改良事業	3,252	宇治浦田街路広場内の駐車場の再整備を行い、有料化することにより長時間駐車・放置車両等の対策について検討を行った。 調査委託	239

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 5 . 公園費

(単位 千円)

予算現額 27,045 千円
 決算額 25,382 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,477		4,900	7,320	5,685

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . うえやま公園整備 事業(防衛)	12,969	植山町の非常時における緊急避難場所の確保を図るとともに、地区住民の快適なレクリエーション・コミュニティ活動の場所を提供するために公園整備を進めた。 (概要) 防衛施設周辺民生安定施設整備事業(補助) 平成19年度(単年度) 測量業務委託、設計業務委託 平成19・20年度(継続) 公園整備工事 A = 1,627.93㎡ (全体事業)(補助事業費) 事業費 32,401千円 事業概要 A = 1,627.93㎡ 事業期間 平成19年度~平成20年度	239
2 . フットボールヴィ レージ整備事業	5,094	フットボールヴィレージ構想の推進を図るため、まつり博跡地の市有地と県有地の交換に係る業務を行った。 (概要) 測量業務委託	239
3 . 公園改良事業	7,319	津波等災害発生時における緊急避難場所の確保を図るとともに、すべての利用者にやさしい快適な遊び・憩いの場を提供するために既存公園の改良整備を進めた。 (概要) 一色公園整備工事 朝熊山麓公園グラウンドゴルフ場芝生保全工事 吹上公園修繕工事	239

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 6 . 都市下水路費

(単位 千円)

予算現額 97,127 千円
 決算額 97,117 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
38,500		23,700	34,917	

上下水道総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 倉田山都市下水路 整備事業	97,117	<p>本地域は、古市町のテニスコート付近から黒瀬町の勢田川までの流域をもち、既設排水路及び排水機場の能力不足から、豪雨の度に浸水被害に見舞われている。このため、平成5年度に都市下水路事業として、工事に着手した。平成11年度に黒瀬ポンプ場の一部供用を開始し、平成12年度にはポンプ設備の増設をすると共に、1号幹線及び2号幹線下水路の築造工事を行ってきた。平成15年度は、整備区域を拡大するため、事業の変更認可を行い、平成16年度から平成19年度の4カ年で1号幹線下水路の築造工事を行った。</p> <p>(事業概要) 倉田山都市下水路1号幹線下水路築造工事 幹線下水路築造 L = 40m</p>	241

(款) 9 . 土木費 (項) 6 . 住宅費 (目) 1 . 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 213,076 千円
 決算額 209,748 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
26,778	210	1,600	118,472	62,688

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 高齢者向け優良賃 貸住宅家賃対策事 業	8,899	<p>民間の土地所有者等による賃貸住宅の経営を誘導することにより、公営住宅を補完し高齢者の安全で安定した居住を確保するため、平成14年3月29日付で三重県知事より認定を受けた高齢者向け優良賃貸住宅供給計画に基づき、民間事業者により建設された高齢者向け優良住宅に対し、昨年度に引き続き住宅の家賃減額補助を行った。</p> <p>(施設概要) 名称 仲林マンション正邦苑竹ヶ鼻 所在地 伊勢市竹ヶ鼻町字沖田198番地 概要 鉄筋コンクリート造 5階建 24戸 1DK 43.22㎡ 20戸 2DK 54.42㎡ 4戸 エレベーター、緊急通報装置の設置、内装のバリアフリー化</p>	243

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 住宅等改修事業	33,578	<p>市営住宅の機能保持と入居者の安全性確保のため、下記の工事を実施した。</p> <p>(概要)</p> <p>屋上防水改修工事 対象施設 市営住宅栗野団地 5棟22戸 工事概要 屋上ウレタン防水 945㎡</p> <p>駐車場整備(舗装)工事 対象施設 市営住宅高倉団地 13区画 市営住宅西豊浜団地 108区画 工事概要 入居者用駐車場の舗装、区画線・車止め・フェンス設置など</p>	243
3. 住宅等整備事業	22,944	<p>平成17年度に策定した「地域住宅計画」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を実施した。</p> <p>(概要)</p> <p>高齢者仕様改善工事 西豊浜団地 1棟12戸</p> <p>空家解体工事 川端中須団地ほか2団地 6棟11戸</p> <p>老朽化市営住宅入居者移転促進事業(移転補償) 川端中須団地ほか3団地 11戸</p>	243

(款)10. 消防費 (項)1. 消防費 (目)1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 1,648,794 千円
 決算額 1,639,379 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			321,508	1,317,871

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	4,706	救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。 軽量空気ポンベ 1,035千円(20本) 軽量消防用ホース 983千円(40本) 防火外套 693千円(5組) 有毒ガス測定器 595千円(3基) AEDトレーニングシステム 376千円(4組)他	245

(款)10. 消防費 (項)1. 消防費 (目)2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 84,272 千円
 決算額 82,340 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10,914	71,426

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 非常備貸与被服購入経費	1,834	消防団員の被服統一、士気高揚を図るため2カ年計画(2年目)により、被服を一新し貸与した。 作業服(夏用) 214着	245
2. 各種資機材購入経費	1,330	3カ年更新計画(1年目)により、消防車両46台に積載してある防火ヘルメット、防火衣を順次更新した。 防火ヘルメット・防火衣60組 ポンプ車6台・積載車7台・軽積載車3台分更新	247

(款)10. 消防費 (項)1. 消防費 (目)3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 94,364 千円
 決算額 91,570 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,400		58,100	2,866	28,204

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消火栓改良負担金	630	市内の老朽した双口消火栓1基を火災時の使用に対する安全対策のためWスピンドル式に更新した。 御園町高向地内 1基	247
2. 消火栓新設負担金	5,624	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に12基を設置し、消防水利の普及を図った。 新設 11基 5,229千円 繰越分 1基 395千円	247

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 防火水槽新設事業	11,172	まちづくり交付金交付事業を活用し、地域生活基盤施設整備地域防災設備として、宮後2丁目地内宮後公園内に耐震性防火水槽を新設した。 また、県道伊勢南島線拡幅工事に伴い既設の防火水槽が障害となり移転要求があった。これにより三重県の補償を受け同地内に耐震性防火水槽を新設した。 宮後2丁目地内 40t 1基 津村町地内 40t 1基	247
4. 消防水利施設整備経費	1,242	消防水利の位置を明確にするるとともに、その周辺への障害物排除及び活動区域を確保するため、消防水利溶着塗装及び標識の設置を施し対策を講じた。また、不良水利1箇所を整備を行った。 溶着塗装 809千円 270箇所 標識設置 334千円 9箇所 水利蓋枠嵩上げ 100千円	247
5. 分署庁舎新設事業	5,020	平成20年度消防署御園分署庁舎建設のため、御園町長屋地内の建設用地地質調査並びに建築設計業務委託を施行した。 地質調査業務委託 1,946千円 建築設計業務委託 2,883千円 鉄骨造2階建 587.84㎡	247
6. 二見出張所新設事業	55,155	消防署二見出張所庁舎建設のため、建築設計業務を委託した。また、その設計書に基づき監理を委託し、二見町茶屋地内に新築した。 建築設計業務委託 1,764千円 建築工事 45,972千円 監理業務委託 725千円 鉄骨造2階建 234.21㎡	247

(款)10. 消防費 (項)1. 消防費 (目)5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 68,429 千円
決算額 60,606 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,694	4,532		145	53,235

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防災行政無線管理運用経費	19,912	住民への災害情報伝達手段として整備した防災行政無線の管理運用に努めた。 同報系 親局4、中継局3、子局185 移動系 基地局4、移動局143	249
2. 地域防災力向上支援事業	4,207	地域防災の中心的役割を担う自主防災隊のリーダーを対象に研修会等を行い、自主防災隊の活性化を促進した。 モデル地区において、地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の意識共有を行うとともに、それらの情報を記載した地区の防災マップを作成した。 モデル地区において、災害時に地域住民が主体となって避難所を開設するためのマニュアルづくりを行った。	249

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 備蓄物資整備事業	6,102	伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料や真空パック寝具等を購入し、物資及び資機材の整備推進を図った。 可搬式浄水器を購入し、災害時において孤立が予想される大湊地区に配備した。	249
4. 一般木造住宅耐震診断事業	5,389	阪神・淡路大震災では昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、東海・東南海・南海地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。 診断件数 118件	249
5. 一般木造住宅耐震補強事業補助金	4,250	木造住宅耐震診断の結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。 (耐震補強工事) 5件、(除却工事) 4件	249

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防災行政無線管理運用経費	782	町内各自治会が地区遠隔装置を使用する際に発生する電話使用料のうち、基本料金に対して補助を行った。 2,350円×12月×27回線(26自治区) = 761,400円	249

御園総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. CATV緊急防災システム管理運営経費	944	御園町地域は災害時の緊急連絡手段としてCATVを利用した情報システムを運用しているため、転入、転居者等のCATVへの加入、機器の設置を促進し、地域の防災情報連絡手段の整備を図り、加入金及び機器の設置費を負担金として支払い、また、加入者情報の台帳を電算システムで管理している。 負担金支出世帯 65世帯	249

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自主防災隊資機材購入事業	1,974	円座町及び徳川山の各地区で新規結成された自主防災隊に対し、地域防災の強化を図るため防災資機材を交付した。 円座町 円座町自主防災隊 浦口4丁目 徳川山自主防災隊	249
2. 自主防災隊補助事業	3,424	伊勢市自主防災隊補助金等交付要綱に基づき、自主防災隊及び自治区の行う防災事業・活動に対し補助を行った。 自主防災隊訓練助成金 2,070千円 69件 防災補助金 1,354千円 15件	249

(款)11.教育費 (項)1.教育総務費 (目)2.事務局費

(単位 千円)

予算現額 561,324 千円
 決算額 553,289 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,958	390		6,616	526,325

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校行事開催事業	1,995	子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援した。 科学創作展 ・内容 : 児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市科学創作教育振興会 ・開催日 : 平成19年9月15日(土)~16日(日) ・開催場所 : 伊勢市生涯学習センター ・委託料 : 195千円 教育美術展 ・内容 : 児童生徒の絵画、書写作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市教育美術展運営委員会 ・開催日 : 平成19年12月1日(土)~2日(日) ・開催場所 : 伊勢市生涯学習センター ・委託料 : 295千円 音楽演劇発表会 ・内容 : 各公立中学校のクラブ員を中心とした生徒が日頃の音楽演劇活動をそれぞれ発表した。 ・委託先 : 伊勢市中学校連合音楽演劇発表会 ・開催日 : 平成19年11月16日(金) ・開催場所 : 観光文化会館 ・委託料 : 1,505千円	251
2. スクールバス運行事業	8,019	三重交通(株)にスクールバス運行業務を委託し、横輪・矢持地区の児童生徒、また嘱託員のスクールバス運転手を雇用し、高麗広地区の児童生徒の通学上の安全を確保した。	251
3. 学校教育支援事業	80,674	・学習支援員や教育支援ボランティアを配置し、特別支援学級や普通学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行った。また、個に応じた学習指導や活動支援を行い、確かな学力の定着や、さまざまな教育活動の充実を図った。 ・地域人材等を学校安全ボランティアとして登録し、通学路等の警備を行い、幼児児童生徒の安全確保を図った。 学習支援員 52人 教育支援ボランティア 102人(登録) 学校安全ボランティア 725人 ・生徒が悩み等を話せる身近な相談相手として、心の支援員(心の教室相談員)を配置した。 小学校6校 5人 (1人は2校と中学校1校を兼務) 中学校11校 11人 (1人は小学校2校を兼務)	251

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 奨学金育英事業補助金	11,411	国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生・生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。 県外大学：37人 県内大学：21人 公立高校：51人 私立高校：20人 高専：2人	251
5. 私立学校等振興助成事業	89,457	私立幼稚園就園奨励費補助金（国の補助事業） 国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。 ・補助金支給者数：1,002人 ・補助金支給額：74,856千円 私立幼稚園保育料補助金 市内の私立幼稚園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。 ・補助金支給者数：847人 ・補助金支給額：4,235千円 幼児教育育成補助金 市内私立幼稚園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。 ・補助金支給額：10,366千円	251

(款)11.教育費 (項)1.教育総務費 (目)3.教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 139,635 千円
決算額 134,154 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			23	134,131

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育相談事業	5,533	小・中学生の教育、不登校及びいじめ問題等に関する相談を行うことにより、不登校児童生徒の早期学校復帰、いじめの解消を図ることができた。 ・子どもの教育全般に関し、親や学校の悩みに応えるため、平日午前8時半から午後5時15分まで教育相談員2名により電話又は面談による相談を行い、児童生徒および保護者の悩みを軽減、解消することに努めた。 ・水曜日・木曜日の午後にカウンセラー2名が常駐し、面接相談におけるカウンセリングを実施し、児童生徒や保護者等の支援を行い、悩みを軽減解消することに努めた。 ・学校、保護者、関係機関との連携をはかることにより、相談に関しての迅速な対応ができた。 ・教育研究所の相談事業を広く周知するために、広報への掲載並びに電話相談カードやパンフレットを配布し、啓発したことにより、児童、保護者が相談しやすくなった。 教育相談員相談延べ件数 103件 臨床心理士相談延べ件数 67件(28人)	253

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 不登校対策ハート ケア事業	918	<p>不登校児童・生徒のための「教育支援センター」では、通級する児童・生徒一人ひとりの自立に向けて、教育支援センター指導員2名、研修員1名、非常勤講師1名が、個に応じた生活や学習の指導及び支援を行った。また、個別カウンセリング、集団活動など継続的な適応指導及び自然体験や宿泊体験・社会体験などを通して自立性や意欲を高め、集団への適応力を育成して、学校復帰につながる等、大きな成果をあげることができた。</p> <p>教育支援センターへの通級生徒数 32名 教育支援センターへの相談延べ件数 1655件 (内訳 電話1155件 来所254件 訪問246件)</p>	253
3. スクールアドバイザー 設置事業	10,266	<p>スクールアドバイザー（嘱託職員2名、臨床心理士2名、その他必要に応じて、緊急学級支援員等）により、学校が行う生徒指導において、指導助言や情報提供を行うことで、各学校が抱えている、いじめ等の問題への早期発見・早期対応を図ることができ、未然防止につなげることができた。</p> <p>相談延べ件数 817件</p>	253

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 教育研究研修推進経費	2,579	<p>教育に関する今日的、将来的な課題について、教育研究所と学校現場が協力しながら、子どもたちの育成に資する研究を進め、伊勢市内小中学校の教育力向上に寄与した。</p> <p>研究運営</p> <p>1. 課題研究プロジェクト 研究所と研究協力校による課題研究プロジェクトを中心に実践的な交流の場を設定し研究を進め、教職員の授業力を高めることができた。 研究協力校：東大淀小学校、厚生小学校、豊浜中学校、厚生中学校</p> <p>2. 校内研修支援プロジェクト 研究協力校：厚生小学校、北浜中学校</p> <p>3. 自由研究 教育現場における子どもの指導にかかわる今日的な問題の中から、自由に課題を設定し、3グループで教職員が研究を進め、その成果を授業公開等により、教職員の資質向上に役立てた。 研究協力グループ：小学校国語科（作文）グループ、中学校英語科グループ、食教育グループ</p> <p>4. 幼稚園教育研究 幼稚園教育における今日的、将来的な課題について、教育研究所と幼稚園現場が協力しながら、幼児の育成に資する研究を進め、人との関りを通して豊かな心を育む幼児を育成することができた。 研究協力園：城田幼稚園</p> <p>5. 食教育研究 食に関する指導の研究を進め、その成果を授業公開することにより、食教育の充実に役立てた。 研究協力校：明倫小学校</p> <p>6. 情報教育研究 情報教育研究会に研究を委託した。教育用ライブラリを立ち上げる準備段階として、研究授業や研修講座などの教育情報をデジタル化し、資料として編集し、各学校で活用できるようにした。</p> <p>7. 資料作成研究 資料作成委員会に研究を委託した。小学校3、4年生用社会科副読本「わたしたちの伊勢市」について、市町村合併を含めた社会情勢を考慮し、授業に活用できるようにした。また、「子ども版 伊勢の成り立ち」編集委員会において資料の収集を行った。</p> <p>研修運営 教職員研修講座（教科・不登校問題・情報教育・食教育・ライフスキル等について）、夏期研修講座（特別支援教育、健康教育について）、冬期研修講座（いじめ問題について）、特別講座、心の問題専門講座、不登校問題事例研究会、乳幼児教育専門講座を教職員対象に開催し、教員の資質・指導力向上につなげることができた。また、保護者啓発講座として、不登校問題について保護者を対象とした講座を持ち、問題解決のための一助となった。</p>	253

(款)11.教育費 (項)1.教育総務費 (目)4.人権教育費

(単位 千円)

予算現額 58,969 千円
 決算額 57,894 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	618			57,276

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 講演会研修開催事業	928	伊勢市人権講演会 結 純子さん(女優)を講師として招き、平成19年12月9日にいせトピアでひとり芝居を開催(228人の参加)し、人権に対する正しい理解と認識を広めさせることができた。 第2回伊勢市人権教育をすすめる市民の集い 廣中邦光さん(浄土宗西居院住職)を講師として招き、平成19年7月31日にいせトピアで開催(400人の参加)し、同和問題の正しい理解と認識を広めさせることができた。 管理職(校長)人権教育研修会 市内小・中学校での人権教育の取り組みをよりいっそう深めるため、管理職(校長)を対象に平成19年8月20日に講演会、意見交換等の研修会を開催した。	253
2. 人権教育研究委託経費	1,000	人権・同和教育に関わる事業の充実を図るため、人権・同和教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託した。	253
3. 同和問題地域啓発推進事業	393	市内の4自治会を指定し、推進委員を委嘱して、6回の合同研修を開催した。その後、推進委員がリーダーとなって、各地域住民の同和問題への正しい理解を広めるため、啓発活動を行った。本年度は、藤里町、粟野町、二見町江区、御園町新高自治会の各自治会で実施した。	253
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	1,098	小学校区を単位として、人権・同和教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めた。 結成団体数 17団体	253
5. 人権教育研究推進経費	480	それぞれの中学校区で人権教育の指導の改善・充実について実践研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ授業交流に努めた。平成19年度は、宮川・北浜・豊浜・城田・小俣・御園中学校区を研究指定校に指定し実施した。	253
6. 子ども人権フォーラム21開催事業	379	子ども達が人権学習や生活の場で学んだことをもとに体験等を発表し合い、お互いの思いや願いを受け止めあいながら人権問題に対する認識を深め、人権学習の充実を図ることを目的として実施した。	253

(款) 11 . 教育費 (項) 1 . 教育総務費 (目) 5 . 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 19,710 千円
 決算額 17,923 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				17,923

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 人権教育指導員設置経費	5,635	人権教育指導員を教育集会所等に配置し、地域に密着した社会人権教育の推進を図った。	255
2 . 教育集会所人権教育事業	700	人権問題に関する理解と認識を深めるため、子ども人権スクール、成人学習講座などを開き、市民に学習の場と機会を提供した。	255

(款) 11 . 教育費 (項) 2 . 小学校費 (目) 1 . 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 506,009 千円
 決算額 481,887 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
73,053			14,890	393,944

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 小学校備品購入経費	6,730	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	257
2 . 小学校整備事業	83,452	伊勢市内の学校施設及び学習環境の一層の充実を図った。 プール改修工事(今一色小) 12,209千円 屋内運動場床改修工事(北浜小ほか) 28,687千円 インターホン設置工事(今一色小ほか) 1,276千円 洋式トイレ設置工事(豊東小ほか) 4,061千円 便所等改修工事(御園小) 2,151千円 少人数教室改修工事(有緝小) 2,415千円 プール塗装等工事(中島小) 5,456千円 フェンス・門扉設置工事(豊西小ほか) 21,080千円 排水設備工事(御園小) 6,117千円 他	257

(款)11.教育費 (項)2.小学校費 (目)2.小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 66,438 千円
 決算額 64,033 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,390	2,050			60,593

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経費	10,762	教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 24校(伊勢市立小学校全校) ・整備額 9,572,735円 理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 13校(有絹、中島、大湊、宮山、浜郷、四郷、豊浜東、豊浜西、北浜、城田、今一色、小俣、御園小) ・整備額 1,038,995円 特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに適応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 2校(修道、中島小) ・整備額 149,940円	257
2. 学校図書館充実経費	5,222	学校図書館がその機能を十二分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 24校(伊勢市立小学校全校)	257
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	34,331	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費・修学旅行費・学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 支給対象者 要保護 18人 準要保護 555人 合計 573人	257
4. 遠距離児童通学費扶助事業	1,836	遠距離通学を行っている児童の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の助成を行った。 対象校：中島小学校、佐八小学校、東大淀小学校、二見小学校	257
5. 修学旅行経費助成事業	4,737	小学校修学旅行の児童支払い分の20%(上限あり)を補助し、児童の見聞を広める教育活動の支援と保護者負担の軽減を図った。	257
6. 特色ある教育活動支援事業	2,450	各小学校が新たな時代の要請に対応できる教育実践を進めるため、学校や地域の実態に即した創意に満ちた特色と魅力のある教育活動を展開した。 実施校数 17校	257
7. 問題を抱える子ども等の自立支援事業	600	倉田山中学校区を単位として、その学校が抱える課題について、未然防止、早期発見、早期対応につながる効果的な取組を行うために、学級集団づくりのあり方、子どもの状況の把握のあり方等について調査研究を行った。	257

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. 小学校英語活動等 国際理解活動推進 事業	1,100	厚生小学校を拠点校として、小学校における英語活動の指導方法、ALTや地域人材の効果的な活用の仕方等についての研究を行った。	257

(款)11.教育費 (項)2.小学校費 (目)3.小学校建設費

(単位 千円)

予算現額 237,462 千円
決算額 148,256 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
94,077		49,400	1,799	2,980

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校耐震補強事業	148,256	安全な学習環境を整備するため耐震補強工事を実施した。 浜郷小学校(校舎・屋内運動場) 城田小学校(校舎) 東大淀小学校(校舎) 神社小学校(校舎) 修道小学校(校舎) 豊浜西小学校(校舎・屋内運動場)	259

(款)11.教育費 (項)3.中学校費 (目)1.中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 506,458 千円
決算額 486,107 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
265,749			10,762	209,596

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校備品購入経費	3,483	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	259
2. 中学校整備事業	268,162	伊勢市内の学校施設及び学習環境の一層の充実を図った。 インターホン設置工事(二見中) 1,208千円 運動場用地買戻(小俣中) 133,456千円 運動場拡張工事(小俣中) 59,669千円 クラブハウス建築工事(小俣中) 6,781千円 運動場改修工事(北浜中) 29,188千円 フェンス設置工事(厚生中) 21,477千円 洋式トイレ設置工事(港中ほか) 3,545千円 フェンス設置工事(二見中ほか) 4,564千円 多目的トイレ設置ほか工事(御園中) 7,680千円他	259

(款)11.教育費 (項)3.中学校費 (目)2.中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 88,470 千円
 決算額 87,008 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
712	2,150			84,146

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	8,501	教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 12校(伊勢市立中学校全校) ・整備額 7,771,681円 理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 7校(倉田山、厚生、豊浜、五十鈴、二見、小俣、御園中) ・整備額 616,128円 特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 2校(五十鈴、小俣中) ・整備額 113,337円	261
2. 学校図書館充実経費	4,006	学校図書館がその機能を十二分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 12校(伊勢市立中学校全校)	261
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	23,796	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費を給与し、必要な援助を行った。 支給対象者 要保護 7人 準要保護 328人 合計 335人	261
4. 修学旅行経費助成事業	11,619	中学校修学旅行の生徒支払い分の20%(上限あり)を補助し、生徒の見聞を広める教育活動の支援と保護者負担の軽減を図った。	261
5. 特色ある教育活動支援事業	1,850	各中学校が新たな時代の要請に対応できる教育実践を進めるため、学校や地域の実態に即した創意に満ちた特色と魅力のある教育活動を展開した。 実施校数 11校	261
6. ALT活動事業	31,971	英語を母国語とする青年を招致し、中学校の英語科教員とともに英語指導にあたり生徒の語学力の向上に努めた。小学校での英語活動や幼稚園、地域住民との交流を通して伊勢市の国際理解教育促進に努めた。 JETプログラムALT: 4人 民間派遣ALT: 4人	261
7. 自分発見!中学生・地域ふれあい事業	1,600	中学校2年生を対象として、学校、家庭、地域社会が丸となって地域ぐるみで職場体験活動を組織し「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。市内全中学校で3日間の職場体験学習を実施した。	261

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. 「いじめゼロ」子どもいきいき学校生活支援事業	600	港中学校で、いじめの実態把握やいじめの問題に対する理解、未然防止について調査研究を進め、生徒の実態把握、学級経営や授業の改善をとおして、一人ひとりの生徒が安心できる環境づくりに取り組んだ。	261
9. 問題を抱える子ども等の自立支援事業	300	倉田山中学校校区を単位として、その学校が抱える課題について、未然防止、早期発見、早期対応につながる効果的な取組を行うために、学級集団づくりのあり方、子どもの状況の把握のあり方等について調査研究を行った。	261

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 3. 中学校建設費

(単位 千円)

予算現額 112,821 千円
決算額 50,115 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,937		20,100	237	10,841

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校耐震補強事業	40,551	安全な学習環境を整備するため耐震補強工事を実施した。 豊浜中学校(校舎) 倉田山中学校(屋内運動場) 五十鈴中学校(屋内運動場)	261
2. 城田中学校特別教室棟改築事業	9,564	生徒の増加に伴い、教室不足となることから、増改築の必要が生じたが、特別教室棟は木造のため建築基準法により増改築時に解体を行う必要がある。よって平成19年から平成20年度の2カ年で特別教室棟を含めた増改築工事を計画した。平成19年度については設計及び仮設校舎の設置を行った。	261

(款) 11. 教育費 (項) 4. 幼稚園費 (目) 1. 幼稚園費

(単位 千円)

予算現額 190,620 千円
決算額 186,747 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
556			21,081	165,110

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 幼稚園備品購入経費	902	幼稚園管理、事務処理など幼稚園運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、幼稚園環境の充実を図った。	263

(款) 11 . 教育費 (項) 5 . 社会教育費 (目) 1 . 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 93,290 千円
 決算額 92,776 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				92,776

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 社会教育推進事業	6,240	1 . 社会教育の充実 社会教育委員兼公民館運営審議会委員 市の社会教育の推進を図り、社会教育に関する諸事業に対して協議した。 伊勢市・飯田市婦人会交流事業 両市の友好親善を深めるとともに、婦人会活動の充実と明るいまちづくり活動を全市的に推進するための相互研修として交流会を実施した。 家庭教育相談室「スマイルいせ」設置事業 家庭教育相談員(2名)を配置し、子育てに関する悩みや相談に応じた。 また、保育所、幼稚園を巡回しての家庭教育学級をはじめ、子育て中の親子が集い交流する事業を通じて、家庭教育の推進に努めた。 【相談件数】 122件(電話25件、面接97件) 【家庭教育学級】 10幼稚園、7保育所で実施 【親子リフレッシュコーナー】 23回開催 (延1,942名の参加) 2 . 各種社会教育関係団体の活動支援 地域での社会教育活動を支援するため、親子会など地域で活動する団体に補助金を交付し活動の支援を行った。 ・二見町子ども会育成会連絡協議会 ・御園小学校PTA ・御園中学校PTA ・御園町親子会連絡協議会	263
2 . 婦人学級開設事業	1,056	修道、有緝、明倫、厚生、中島、早修、神久、一色婦人会が開催する婦人学級活動に対する支援を行った。 開講数 469回 延参加者数 5,447名	263

(款) 11 . 教育費 (項) 5 . 社会教育費 (目) 2 . 公民館費

(単位 千円)

予算現額 31,032 千円
 決算額 30,193 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			765	29,428

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 公民館管理運営経費	21,667	公民館施設を市民が安心して、快適に利用できるよう維持管理に努めた。 また、避難所として指定されている公民館の内、耐震診断未実施の施設について耐震診断を行った。 ・二見公民館(二見町茶屋地内) ・高向公民館(御園町高向地内) ・新高公民館(御園町高向地内)	265

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 公民館補助金	8,526	地域において指定管理している御園町内の市立公民館の修繕等に係る経費の一部(2/3)を補助した。 また、市内自治会が住民の交流の場として設置する地区公民館の建設にかかる費用の一部を補助した。 上地町公民館(鉄骨造1階建) 佐八町公民館(鉄骨造一部木造2階建)	265

(款)11. 教育費 (項)5. 社会教育費 (目)3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 52,976 千円
決算額 50,144 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,760	752		4,828	40,804

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民芸術文化誌出版事業	3,876	伊勢市総合文化誌『伊勢ぶんか』を発行し、1,000部を県内図書館や市内関係機関に無料配付、2,000部を市内書店等で頒布して、総合的な文化振興を図った。 (規格)A4版 96頁 カラー一部モノクロ (内容)特集『ぶんかの活力源』、内観外遊座談会、「伊勢の音をつくる」、「知っていますか?」、特別寄稿、「学校の風景」、「カルカルエッセイ」、「鶉の目鷹の目」、文化団体情報一覧、ビッグブライズニュースなど	265
2. 文化講演会開催事業	644	積極的にプロの高度な文化芸術や学術に触れることができるよう、11月に日本将棋連盟 杉本棋士七段らを招き、親と子の将棋教室を開催(参加者数76人)し、また、3月に秋山豊寛講演会を開催(観客数270人)し、文化芸術の継承及び充実、学術向上を図った。	265
3. 市民芸能祭開催事業	1,620	第51回芸能祭は、平成19年10月21日・28日・11月4日・11日・23日・12月8日(2会場)の延べ6日間で、総合部門、邦楽・吟詠剣詩舞、バレエ・モダンダンス、日舞・民踊、合唱、フォークダンス、能楽の8部門を開催し、71団体約1,680人が出演、約2,910人が鑑賞した。	265
4. 美術展覧会開催事業	1,046	第54回美術展覧会を平成19年10月30日~11月4日までの6日間にわたり開催。作品の多様化を促すため、部門の統廃合を進め、全5部門で開催した。また、出品数の増加によるレベルアップを図るため、2点出品制に対応し、部門別に規定されていた細かな規格を緩和した。 出品点数 384点 観覧者数 約2,007人	265

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 文化財保存整備事業補助金	5,215	市内に所在する指定文化財等の適正な保存管理を図り、文化財保護の充実に資することを目的とするものである。 【平成19年度事業内容及び決算額】 県指定有形文化財・経蔵 部分修理事業 ・補助事業者 宗教法人 寂照寺 ・決算額 3,460千円 市指定有形文化財・木造地藏菩薩坐像 修理事業 ・補助事業者 宗教法人 眞福寺 ・決算額 576千円 市指定天然記念物・境楠周辺環境整備事業 ・補助事業者 楠奉賛会 ・決算額 1,179千円	267
6. 史料保存調査経費	3,001	四郷地区各町が所蔵する古文書等の歴史資料のうち、主に楠部町有資料1万6千点、中村町有資料6.5千点について、国・県の補助を受け、平成15年度から平成19年度までの5箇年、全体事業費15,003千円(国50%、県10%以内)で調査を実施する。 平成19年度は事業の最終成果として調査報告書を作成した。	267
7. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	1,946	伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。 【交付先】 ・馬瀬狂言保存会他22団体	267
8. 一色の翁舞記録作成(文書記録)経費	3,516	一色の翁舞は、平成7年に国の記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財に選択されているが、調査事業が未実施で、関係者の高齢化もあり、継承の形態が口伝によるところが大きいことから、将来的伝承の一助として調査報告書を作成するものである。国・県の補助を得て平成18・19年度の2ヶ年で実施する。 【平成19年度事業内容】 前年度の補完調査、資料撮影、調査報告書(900部)の作成。 【平成18年度事業内容及び決算額】 ・記録撮影業務委託 710千円 ・調査及び委員会開催経費 1,373千円	267
9. 一色の翁舞記録作成(映像記録)経費	2,005	文書記録を補完するための記録事業である。国・県の補助を得て平成19・20年度の2ヶ年で実施する。 【平成19年度事業内容】 一色能、通り能の映像撮影。平成20年度にはDVDを成果品とする。	267
10. 二見浦保存管理計画策定経費	620	平成18年7月28日に国名勝に指定された「二見浦」について、適切な保存管理を行うため、その基準となる保存管理計画を策定するものである。平成19年度は、関係分野の専門家及び土地所有者等による名勝二見浦保存管理計画策定委員会を組織し、委員会を4回開催した。	267
11. 特別展等開催事業	416	第19回特別展として、郷土資料館において「考古資料にみる伊勢の巨大縄文集落 佐八藤波遺跡と西村忠之コレクション」(平成19年12月8日~平成20年2月24日)を開催し、847人の観覧があった。	267

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
12. 尾崎琴堂顕彰事業	123	<p>第5回企画展として「琴堂・尾崎行雄写真展～旧記念館の写真に見る琴堂～」(平成19年6月1日～9月30日)を尾崎琴堂記念館において開催し、433人の観覧があった。</p> <p>また、第6回企画展として「書に込めた・人間琴堂の想い～発見しよう 書の中に託されたものを～」(平成19年11月1日～平成20年2月29日)を同館において開催し、827人の観覧があった。</p> <p>なお、来館者の調査・研究の一助のため、展示用の軸(和歌：尾崎琴堂、書：浜田国松・犬養木堂)等を購入した。</p>	267
13. 山田奉行所記念館特別展開催事業	600	<p>山田奉行所記念館の設置目的を達成するため、山田奉行所に関連する特別展示を開催し、常設展示を補完した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季特別展 : 「山田羽書と奉行所」 ・冬季特別展示事業 : 「大的式」 ・冬季特別展 : 「いまに足跡を伝える奉行たち」 	267

(款)11.教育費 (項)5.社会教育費 (目)4.青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 12,677 千円
決算額 12,392 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				12,392

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 青少年健全育成推進事業	1,905	<p>1.全国的に展開される青少年健全育成活動に合わせ、横断幕や懸垂幕を掲示し、啓発を行った。</p> <p>2.青少年が安心して暮らせる安全なまちをつくるため、また、さまざまな自然体験や生活体験で有意義に過ごせる受け皿を整えるために、青少年育成市民会議への事業委託、地域指導者の育成など、地域主導型による青少年健全育成活動を実施した。</p> <p>伊勢市青少年育成市民会議本部 260,000円 伊勢市青少年育成市民会議伊勢支部 1,065,000円 伊勢市青少年育成市民会議二見支部 225,000円 伊勢市青少年育成市民会議小俣支部 130,000円 伊勢市青少年育成市民会議御園支部 225,000円</p>	267
2. 飯田市交流会実施事業	2,131	<p>山のまち飯田市と海に面した伊勢市の小中学生が児童・生徒会活動や学校内外の生活、住んでいる地域社会について交流し、友情と連携の輪を強め、次代のリーダーとしての親睦を深めることを目的に実施した。</p> <p>【夏季】平成19年8月2～3日、飯田市の小学生28人と伊勢市の小学生113人が、神宮会館・二見シーパラダイスにおいて、児童会活動発表、貝工作や海獣とのふれあい体験、郷土芸能体験等を行うことにより交流を深めた。</p> <p>【冬季】平成20年1月27～28日、伊勢市の中学生36人と飯田市の中学生28人が、スキーや水引細工などの郷土芸能体験等を行うことにより交流を深めた。</p>	267

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 成人式開催事業	1,605	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、成人の日にちなみ、平成20年1月13日、三重県営サンアリーナにおいて、「新成人のつどい」を開催した。 実行委員29名で企画運営を行い、式典後に講演会を行うなど新たな試みに挑戦した。市からの記念品予算はカットになったが、「記念になる品物をつくって配る」という案のもとプログラムを兼ねた記念冊子を作成した。 成人者数 男747人 女747人 計1,494人 出席者数 男550人 女647人 計1,197人	267

(款)11.教育費 (項)5.社会教育費 (目)5.図書館費

(単位 千円)

予算現額 179,385 千円
決算額 177,199 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			278	176,921

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 図書マーク化等業務経費	2,239	分類記号等書籍項目の統一とデータ作成を委託することにより、事務の効率化・簡素化を図った。 伊勢図書館 1,396千円 小俣図書館 843千円	269
2. 図書整備経費	26,007	閲覧用図書、雑誌、新聞、官報、視聴覚資料を購入し、図書資料をより一層充実させ、図書利用の促進を図った。 購入図書資料 伊勢図書館 8,089冊 小俣図書館 5,485冊 購入視聴覚資料 伊勢図書館 20点 小俣図書館 77点 伊勢図書館 14,867千円 小俣図書館 11,140千円	269
3. ブックスタート支援事業	1,888	子育て支援の一環として、家庭内で絵本を通じた親子の交流のきっかけとなるよう、対象乳幼児に絵本の2冊入ったブックスタートパックを配付した。 配付数 1,082人	269
4. 電算業務経費	12,037	電算システム導入による蔵書管理を行い、貸出返却事務の簡略化とスピードアップ及びインターネットによる蔵書情報の提供を行い、利用者サービスの充実を図った。 伊勢図書館 10,790千円 小俣図書館 1,247千円	269
5. 子ども読書活動推進計画策定経費	184	すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるような環境の整備と、施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、読書活動推進計画を策定した。	269

(款) 11 . 教育費 (項) 5 . 社会教育費 (目) 6 . 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 16,228 千円
 決算額 15,329 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	149			15,180

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 生涯学習推進事業	13,144	1 . 生涯学習講座の実施 生涯学習のきっかけづくりの場として、公民館等を利用し住民の生涯学習への参加・啓発を目的とし、年間講座として各種教室を実施した。 (小俣地域) 全15講座 受講者数234名 (二見地域) 全16講座 受講者数370名 (御園地域) 全7講座 受講者数88名 2 . 団体への助成 小俣、二見、御園地域において、サークル活動や文化祭等生涯学習事業に取り組む3文化協会の活動を補助し、地域における文化活動を支援した。	271
2 . 放課後子どもプラン推進事業	224	放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、教育委員会と福祉部局のそれぞれが実施している事業の連携を図るため、「伊勢市放課後子どもプラン運営委員会」を設立し、今後の子どもたちの安全で安心して過ごせる居場所づくりについて話しあった。 ・伊勢市放課後子どもプラン運営委員会委員 13名	271

(款) 11 . 教育費 (項) 5 . 社会教育費 (目) 7 . 生涯学習センター費

(単位 千円)

予算現額 81,368 千円
 決算額 80,390 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,444	78,946

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 生涯学習センター施設維持管理経費	80,390	1 . 伊勢市生涯学習センター(いせトピア) 平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を導入している。 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んでいる。 指定管理者：特定非営利活動法人 まなびの広場 指定期間：自平成18年4月1日 至平成21年3月31日(3年間) 2 . 二見生涯学習センター 生涯学習センターを市民が快適に利用できるよう、修繕等維持管理を行った。	271

(款) 11 . 教育費 (項) 5 . 社会教育費 (目) 8 . 学習等供用施設費

(単位 千円)

予算現額 10,250 千円
 決算額 9,371 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			4,677	4,694

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 学習等供用施設維持管理経費	9,371	地元の指定管理となっている学習等供用施設を市民が快適に利用できるよう、修繕等維持管理を行った。 ・小川町民会館シロアリ駆除(西豊浜町地内) ・田尻町民会館シロアリ駆除(田尻町地内) ・船江会館雨漏り修繕(船江地内)	273

(款) 11 . 教育費 (項) 5 . 社会教育費 (目) 9 . 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 37,066 千円
 決算額 36,892 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,299	35,593

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 観光文化会館施設維持管理経費	35,521	民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、伊勢市観光文化会館に指定管理者制度を導入している。 指定管理者：特定非営利活動法人 まなびの広場 指定期間：平成18年4月1日～平成21年3月31日 (3年間)	273

(款) 11 . 教育費 (項) 6 . 保健体育費 (目) 2 . 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 85,364 千円
 決算額 81,909 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			15,169	66,740

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 児童生徒保健管理事業	78,163	学校保健法に基づく健康診断として、児童生徒及び園児に対し、校医による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、児童生徒の健康管理に努めた。	273
2 . 教職員健康管理事業	2,660	県費負担教職員に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	273

(款)11.教育費 (項)6.保健体育費 (目)3.学校給食費

(単位 千円)

予算現額 1,242,488 千円
 決算額 789,248 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,585		299,900	10,461	468,302

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校給食管理経費	105,908	「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、調理室等の衛生面に重点をおき、給食備品を修理、購入して設備の充実に努めた。給食関係者の検便、給食室の環境衛生検査等を実施することにより、食中毒の防止に努めた。	275
2. 給食施設整備経費	3,013	学校給食備品のうち老朽化しているものについて、耐用年数及び機能を調査したうえで計画的に購入し設備の充実に努めた。 ・諸機器を購入(明野小他6校) ・老朽化したボイラーを撤去し給湯器を設置(二見小) ・衛生面から食器消毒保管機の増設(城田小) ・牛乳保冷庫の購入(浜郷小・小俣中)	275
3. 学校給食衛生管理強化経費	2,555	調理士の健康及び安全衛生上の問題を改善するため、空調設備を設置した。 四郷小学校	275
4. 中学校給食施設建設事業	337,823	市内中学校完全給食実施に向け、中学校給食共同調理場建設を進めた。 (概要) 鉄骨造平屋建 当初予算額(19年・20年)1,392,099千円 事業期間 平成19年度~平成20年度	275

(款)11.教育費 (項)6.保健体育費 (目)4.体育振興費

(単位 千円)

予算現額 73,860 千円
 決算額 66,290 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			6,452	59,838

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 体育指導事業	3,879	地域におけるスポーツ振興のため、委嘱された体育指導委員が、生涯スポーツの普及を図った。 委員数：64名	277
2. 生涯スポーツ行事開催事業	8,149	体育祭を筆頭に、ソフトボール、バレーボール、マラソン、ウォーキング、ハイキング、カローリング等様々なスポーツ大会や教室を開催し、地域住民の健康の維持・増進と生涯スポーツの普及を図った。 体育祭においては、いせスポーツ・レクリエーションフェスティバル2007においては4670名が、また、小俣町民体育祭においては、4166名の参加があった。	277

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	5,660	生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツに参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。 なお、平成19年度においては、いすゞウキウキクラブ、厚生総合型地域スポーツクラブ、北浜はつらつスポーツクラブ、きだっこクラブ、おばたスポレククラブASRE C、みそのスポレククラブの5団体があり総数約2600人が会員となっている。	277
4. B & G 海洋センター事業	703	海洋性スポーツを通して、子供たちに水に触れる機会の提供と、心身の健康保持を図った。 また、B & G 財団並びに近隣海洋センターとの情報交換、情報共有を図った。	277
5. 小学校体育活動推進事業	1,633	市内小学校の陸上記録会を開催した。また、全国大会に参加する選手と引率者の旅費を支給した。	277
6. 中学校体育活動推進事業	15,001	市内中学校の体育大会を開催した。また、全国大会、東海大会等に参加する選手と引率者の旅費を支給した。	277
7. 全国大会等参加激励事業	9,395	県内予選を勝ち抜いて、伊勢市を代表して、全国大会に参加する選手の旅費を一部負担した。	277
8. ジュニア育成事業	878	子どもたちの運動離れ、体力低下に歯止めをかけるため、スポーツ少年団、体育協会にジュニア育成のための、スポーツ大会や教室の開催を委託した。	277
9. 集客誘致大会開催事業負担金	12,850	集客交流事業として、全国規模の大会を誘致し開催した。伊勢市への経済波及効果と伊勢市総合計画で掲げた「交流で創るまちづくり」を達成することができた。 お伊勢さん健康マラソン大会(2506人)、都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会(889人)、全日本ジュニア体重別相撲選手権大会(150人)、選抜社会人野球大会(500人)、神宮奉納全日本ソフトテニス大会(330人)の5大会を開催した。	277

(款)11.教育費 (項)6.保健体育費 (目)5.体育施設費

(単位 千円)

予算現額 286,788 千円
 決算額 254,173 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
166,000			22,777	65,396

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 集客体育施設管理運営経費	22,939	高校野球夏季大会、神宮奉納社会人野球大会などの各種野球大会、及び神宮奉納全日本ソフトテニス大会、都道府県対抗全国中学生ソフトテニス大会などの各種テニス大会の円滑な運営と、一般利用者が快適にプレーできるよう、専門業者へ委託等しながら年間を通じて管理した。 (倉田山公園野球場、市営庭球場)	277
2. 一般体育施設管理運営経費	48,001	伊勢市民の快適なスポーツライフのため、各種スポーツ施設を年間を通して適正な状態に保つよう維持管理した。 各種スポーツ施設としては、五十鈴公園野球広場・多目的広場・球技広場、宮川スポーツグラウンド、市民武道館、北浜スポーツグラウンド、宮川堤公園ゲートボール場、あさま市民プール、二見体育館、二見グラウンド、二見テニスコート、二見スポーツ公園、ミーティングセンター、小俣総合体育館、大仏山公園スポーツセンター、小俣児童体育館。	279
3. 体育施設整備事業	172,873	小俣総合体育館(平成2年度建設SRC造・2階建)の経年劣化や台風等による変形損傷が原因となり漏水が発生することから屋根及び外壁の改修を行った。 内部においては、コートラインの補修、6人制バレーボール支柱基礎の新設を行った。 また、安全対策としてアリーナ及び武道場の耐震補強、武道場内の柱へのクッション材設置を行った。	279

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 1. 道路橋梁災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 2,236 千円
 決算額 2,025 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,127		500		398

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 道路橋梁災害復旧事業	2,025	平成19年7月14日から15日の台風4号により被災した箇所の復旧を行ない、施設の機能回復を図った。 (概要) 道路災害復旧工事 【補助分】1箇所 L = 11.0m	頁 281

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 33,209 千円
 決算額 17,210 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,260		4,000	2,829	2,121

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 河川災害復旧事業	17,210	平成18年6月15日から16日の豪雨、平成19年7月14日から15日の台風4号、平成19年9月1日から2日の豪雨及び平成19年9月11日から15日の豪雨により被災した箇所の復旧を行ない、施設の機能回復を図った。 (概要) 河川災害復旧工事 【補助分】 現年分 3件 L = 44.0m 平成18年度からの繰越 1件 L = 77.0m 平成20年度への繰越 1件 L = 9.6m 【単独分】 現年分 3件 L = 14.0m 平成18年度からの繰越 1件 L = 132.0m 平成20年度への繰越 1件 L = 18.0m	頁 281

(款)13. 公債費 (項)1. 公債費 (目)1. 元金

(単位 千円)

予算現額 4,206,960 千円
 決算額 4,206,960 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			53,134	4,153,826

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	4,206,960	通常償還に加え、公的資金補償金免除繰上償還の承認を得た起債の繰上償還を行った。 このことにより、次年度以降の償還にかかる利子の削減を行った。 利子軽減額 4,362,182円 償還額合計 4,206,959,986円 通常償還額 4,161,869,744円 繰上償還額 45,090,242円	285

【国民健康保険特別会計】

(款) 2 . 保険給付費 (項) 1 . 療養諸費 (目) 1 . 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 4,491,131 千円
 決算額 4,448,725 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,751,615	244,832			2,452,278

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 一般被保険者療養 給付費	4,448,725	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 307,062件 (2) 年度平均被保険者数 26,196人	307

(款) 2 . 保険給付費 (項) 1 . 療養諸費 (目) 2 . 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 3,328,231 千円
 決算額 3,270,077 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,498,879	771,198

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 退職被保険者等療 養給付費	3,270,077	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 239,734件 (2) 年度平均被保険者数 11,742人	307

(款) 2 . 保険給付費 (項) 1 . 療養諸費 (目) 3 . 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 43,769 千円
 決算額 42,339 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,670	2,330			23,339

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 一般被保険者療養 費	42,339	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 5,686件	307

(款) 2 . 保険給付費 (項) 1 . 療養諸費 (目) 4 . 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 34,066 千円
 決算額 33,375 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			25,504	7,871

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 退職被保険者等療養費	33,375	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 3,769件	頁 307

(款) 2 . 保険給付費 (項) 2 . 高額療養費 (目) 1 . 一般被保険者高額療養費

(単位 千円)

予算現額 470,565 千円
 決算額 453,880 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
178,708	24,979		49,515	200,678

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 一般被保険者高額療養費	453,880	一般被保険者の高額療養費支給額 (1) 支給件数 6,501件	頁 307

(款) 2 . 保険給付費 (項) 2 . 高額療養費

(目) 2 . 退職被保険者等高額療養費

(単位 千円)

予算現額 237,403 千円
 決算額 224,946 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			171,896	53,050

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 退職被保険者等高額療養費	224,946	退職被保険者等の高額療養費支給額 (1) 支給件数 3,869件	頁 307

(款) 2 . 保険給付費 (項) 4 . 出産育児諸費 (目) 1 . 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 59,500 千円
 決算額 55,300 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				55,300

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 出産育児一時金	55,300	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 158件	309

(款) 2 . 保険給付費 (項) 5 . 葬祭諸費 (目) 1 . 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 49,250 千円
 決算額 46,850 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				46,850

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 葬祭費	46,850	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 937件	309

【老人保健医療特別会計】

(款) 2 . 医療諸費 (項) 1 . 医療諸費 (目) 1 . 医療給付費

(単位 千円)

予算現額 10,192,947 千円
 決算額 10,030,321 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,050,107	777,068		5,257,385	945,761

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 市負担額(医療給 付費)	10,030,321	医療費給付額 (1) 給付件数 421,937件 (2) 月平均受給者数 16,034人	325

(款) 2 . 医療諸費 (項) 1 . 医療諸費 (目) 2 . 医療費支給費

(単位 千円)

予算現額 205,773 千円
 決算額 200,667 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
61,021	15,546		105,179	18,921

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 市負担額(医療費 支給費)	200,667	医療費支給額 (1) 支給件数 62,274件	325

【介護保険特別会計】

保険事業勘定

(款) 2 . 保険給付費 (項) 1 . 介護サービス等諸費

(目) 1 . 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 8,081,775 千円
 決算額 7,863,729 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,819,407	1,158,385		2,493,139	2,392,798

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 居宅介護サービス給付費負担金	3,379,843	要介護被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給付費 支給件数 68,954件	341
2 . 地域密着型介護サービス給付費負担金	561,939	要介護被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する保険給付費 支給件数 2,679件	341
3 . 施設介護サービス給付費負担金	2,878,649	要介護被保険者が受けた施設サービス等に対する保険給付費 支給件数 12,698件	341
4 . 居宅介護福祉用具購入費負担金	13,031	要介護被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給付費 支給件数 511件	341
5 . 居宅介護住宅改修費負担金	39,021	要介護被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費 支給件数 379件	341
6 . 居宅介護サービス計画給付費負担金	348,026	要介護被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計画作成に対する保険給付費 支給件数 30,088件	341
7 . 介護予防サービス給付費負担金	168,979	要支援被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給付費 支給件数 6,413件	341
8 . 地域密着型介護予防サービス給付費	299	要支援被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する保険給付費 支給件数 4件	343
9 . 介護予防福祉用具購入費負担金	1,890	要支援被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給付費 支給件数 106件	343

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. 介護予防住宅改修費負担金	14,297	要支援被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費支給件数 131件	343
11. 介護予防サービス計画費負担金	21,209	要支援被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計画作成に対する保険給付費支給件数 5,116件	343
12. 高額介護サービス費負担金	113,928	要介護被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額を超えた場合に支給する保険給付費支給件数 11,218件	343
13. 高額介護予防サービス費負担金	111	要支援被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額を超えた場合に支給する保険給付費支給件数 43件	343
14. 特定入所者介護サービス費負担金	322,457	低所得の要介護被保険者が居宅サービス（短期入所に限る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費等に係る費用の一部に対する保険給付費支給件数 10,173件	343
15. 特定入所者介護予防サービス費負担金	50	低所得の要支援被保険者が居宅サービス（短期入所に限る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費等に係る費用の一部に対する保険給付費支給件数 10件	343

(款) 4. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費 (目) 1. 介護予防事業費

(単位 千円)

予算現額 4,216 千円
決算額 3,711 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,054	527		1,832	298

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 運動器機能向上事業	504	基本健康診査の生活機能チェックの結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に転倒骨折予防教室を開催した。筋力トレーニングや体操等を行い、転びにくい体づくりに取り組んだ。 延べ57回、142人の参加を得て要介護状態になることを予防した。	343
2. 栄養改善事業	66	基本健康診査の生活機能チェックの結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に栄養改善教室を実施した。低栄養状態を改善するための食べ方や食事作りなどの個別相談を行った。 延べ22回、31人の相談指導を行った。	343

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 口腔機能向上事業	201	基本健康診査の生活機能チェックの結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に口腔訓練教室を実施した。口の健康を保つための相談や嚥下機能が向上する訓練などを集団指導や個別の相談で行った。 延べ32回、55人の相談指導を行い、口腔機能の向上を図った。	343
4. 認知症予防事業	1,027	基本健康診査の生活機能チェックの結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に脳活性化教室を実施した。脳機能検査により脳の働き具合を把握し脳を刺激する生活改善リハビリや音楽療法などを行い認知症予防に努めた。 延べ38回、87人の参加があり、参加者の脳機能の改善・維持がみられるなど、要介護状態になることを予防した。	343
5. 訪問型介護予防事業	66	基本健康診査の生活機能チェックの結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められるが、通所が困難な市民を対象に訪問指導を実施した。保健師や歯科衛生士などが延べ14回、24人に相談指導を行った。	343
6. 介護予防普及啓発事業	1,767	65歳以上の高齢者を対象に、中央保健センター及び地域において介護予防講座、すこやか教室（老人クラブ）、通所型介護予防事業、訪問指導などを実施し、延べ329回、3,897人に要介護状態になることを予防するための様々な知識の普及啓発を行い、介護予防の推進に努めた。	343
7. 地域介護予防活動支援事業	80	地域における介護予防に関する自主的な活動が実施されるよう認知症予防や転倒骨折予防を目的とした自発的な活動の育成・支援を行った。 延べ256回、3,907人が活動を行い、その内の延べ40回、850人に支援を行い、活動が継続された。	343

(款) 4. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費

(目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 90,689 千円
決算額 86,247 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
39,087	19,543			27,617

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	15,251	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等（施設入所者を除く）に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。 クーポン券配布者数 370人	345

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防ケアマネジメント事業	274	要支援・要介護状態になる恐れがある高齢者(特定高齢者)に対して、保健師が家庭訪問等を通じて、介護予防事業の参加勧奨を行い、必要な対象者にケアプラン作成を行った。	345
2. 総合相談事業・権利擁護事業	8,817	高齢者の生活を福祉、介護など総合的に支えるため、高齢者本人及び家族からの相談に対して、さまざまな制度や社会資源の紹介や支援を行った。また、高齢者虐待、成年後見制度等の啓発を行った。	345
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	11,509	包括的・継続的なケアマネジメントが行えるよう、関係機関との関係づくりに努めるとともに、地域の介護支援専門員への助言・支援及び資質向上研修への協力を行った。	345
4. 食の自立支援事業	5,833	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で買い物と調理が困難な者に対し、栄養のバランスがとれた食事を定期的に提供するとともに安否確認を行い、要介護状態への進行の予防・生活支援を行い、高齢者への福祉の増進を図った。	345

介護サービス事業勘定

(款) 1. 事業費 (項) 1. 介護予防サービス事業費

(目) 1. 介護予防サービス事業費

(単位 千円)

予算現額 36,593 千円
 決算額 35,634 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			21,381	14,253

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防サービス計画作成事業	15,495	介護認定審査会において、要支援1または要支援2と認定された要支援者に対して、適切な介護予防ケアマネジメントを行い、要支援状態の改善や重症化予防を行った。	351

【土地取得特別会計】

(款) 1. 用地取得事業費 (項) 2. 事業費 (目) 1. 事業費

(単位 千円)

予算現額 5,795 千円
決算額 5,793 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,793

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 公共用地・代替地取得事業	5,793	<p>公共事業による移転者の代替地等を先行取得することにより、事業の促進を図るため、土地開発基金を活用し、公有地の取得及び処分等を行った。</p> <p>本年度取得した公有地 (宅地 79.55㎡)</p> <p>本年度処分した公有地 (宅地 868.85㎡、畑 4413.00㎡)</p>	385